



市整会

会報

大阪公立大学整形外科開業医会

No.75 2025年7月10日発行

医療法人 孝瑛会
西沢整形外科クリニック
〒599-8114 堺市東区日置荘西町1-15-23
TEL072-288-2001 FAX072-288-2002

巻頭言

崩壊と再生の狭間で

市整会 会長 小竹 志郎 (平成11年入局)

先日の総会にて市整会会長を拝命いたしました。

市整会は大阪市立大学開業医会として伊藤初代会長のもと発足したのが大阪万博の3年後、オイルショックのその年1973年、以後歴代会長、役員
の諸先輩方の奮闘により、繋がりのある開業医を目指し、今や200余名の会員を要する日本中を見渡しても他に比し難い同門整形外科開業医会となっております。

今回の総会にて大阪公立大学の誕生に合わせ正式名称は、新たに「大阪公立大学整形外科開業医会 市整会」となりました

その伝統ある市整会の会長就任にあたり所信表明を語る場ではありますが、およそ就任挨拶としてはふさわしくない市整会の存続可能性とその意義というテーマを今回は考えていきたいと思いません。

冒頭、崩壊と再生と書きました。一般に再生という言葉と対に並ぶのは 破壊、でしょう。ただ破壊という場合、それは何らかの意思を持つ主体による組織の解体、というイメージがあり、自然現象、物理現象としてのシステムの消滅は、破壊よりも崩壊と書く方がしっくりくると思いませんか。

では我々この世に生を受けたすべては、エント

ロピー増大則の中でただ座して死を待つみの存在なのでしょうか。

先日、大盛況の大阪万博に行ってみました。事前の不評を大きく覆しインバウンドもあるとはいえ日本てまだこんなに人いたの?というほど溢れる老若男女の大行列の中、唯一予約で入れたのが、生物学者 福岡伸一さんのバビリオン、テーマは「動的平衡」でした。

平たくネタバレしてしまいますと、全ての物質がエントロピー増大則に従いその熱量や秩序を失って、ただの冷えきった混沌に戻るはずのこの世界で、なぜ生物だけがミyakミyakと命というシステムを存続進化し続けられてきたのか という我々が奉じる医学という世界のさらに根底とも言える生物学の大命題への福岡伸一さんなりの答えが動的平衡という概念でした

一般に生物は競争と適者生存による利己的な遺伝子の運び手として進化したという教育を我々は受けたはずですが、確かに十分な個体数がある場合そのような要因が生み出す進化は存在すると思えますが、福岡さんは生物は競争ではなく、むしろ共生と利他によってより進化する、つまり自分以外の何かや誰かのために役立つことでより進化するという説を唱えられています

その核心の動的平衡をシンボル化したパビリオンの映像には、坂道の途中にある大きな輪、それは無数の小さな点の集まりで、その輪は本来重力と時間による崩壊で崩れ転がり落ちるはずですが、輪っかの頂点を超えて前面に出た点たちが接地する直前に自ら先回りして次々に崩壊することで輪っか全体は前転しつつ坂を登り続けるという不思議なものでした。

(一部ですが下のアドレス (もしくはは2次元コード) の動画 1 : 50 付近にあります



<https://www.youtube.com/watch?v=SMeDycogRuY&t=104s>

市整会は存続できるのか という話題に戻りますが、一見メンバーの高齢化に伴う活動性の低下だけが問題で、若いメンバーへの移譲が進めばかつての勢力は自動的に回復されるというように考えられがちだと思います。しかしながら現状の衰退の本質は一大学の開業医会の問題ではなく、各科別の開業医というようなこの国独特の形態が今後どうなっていくのか、並行して、官民併存の病院運営、大学医局という研究教育機関、その3者ともに今現在のスタイルがこのまま持続可能だとは思えず、さらにその根底には、国民皆保険というもはや無理ゲーとしか思えないシステムがどう破綻していくのかという問題に行き着き、この先大きな崩壊は必然で、その先にどのような再生が起こりうるかは未知数というところでしょうか。

みなさんも日本は世界で唯一成功した社会主義国、というようなジョークを聞いたことがあるかもしれません。護送船団、とか日本株式会社とも言われ、大蔵省や通産省 (若い先生知ってます? 財務省じゃないですよ) 中心の国策に乗って、戦後の焼け野原からわずか30年ほどで世界最強の生産と経済の国へと成り上がり、その輸出力の暴威にジャパンアズナンバーワンとまで畏怖されたシステムは、バブル崩壊と言われた時代の荒波の中であったという間に解体され、紆余曲折はあれどその力強さを取り戻すことなくジリ貧の30年を過ごしてきたことはご承知のとおりです。そしてその巨大恐竜たちの大絶滅の中、最後の護送船団に守られて、不自由ながらも最近まで安泰に生き延びてきたのが我ら医療業界、国民皆保険制度です。

もしかしたら今の我々はソ連 (これもロシアじゃないですよ) 崩壊寸前の、安いけど品不足のあまり大行列が常態化した公営市場のジャガイモみたいな商品なのかもしれません。

前日の市整会総会会議中に総会資料をGoogleDriveで見っていた私のiPadに、かつての文系時代の同級生グループからのLINEがピコピコと出てきました。親友が長年の大手銀行勤務を終え第二の職場へ移動する旨の報告があり元クラスの皆でねぎらいかつ激励しておりました。

我らの世代が世に出た1990年前後、この国はまさにバブルの狂騒のさなか、そんな浮いた話には縁のないピンボー学生たちは、ある意味のほほんとしたまま超一流の企業や役所に勤めるにあたり、激務はあれど、保証はされて、出世しようとしまいと収入格差はせいぜい数倍という人生を歩むつもりでいたはずですよ。どこやらの学部関係者の現在とそっくりでしょう?

その後の経済界の激変ぶりはそれはもうどこやらの学部に入り直して塀の中から出なかった私には想像もつかず、その果ての現在、この国の他の業界では同じ職場勤めでも派遣社員と正社員で数倍、ましてやCEOとヒラでは数百倍以上の格差がつくに至った30数年を、彼らは、独立したものの、そのまま出世したもの、会社本体が消えてしまったもの、それぞれに生き抜いてきたようです。その彼らも、崩壊を予測して十分な準備をしてそれらを乗り越えてきたわけでは決してなく、それこそ朝出勤したら新聞に我が社の消滅が載っている、レベルの修羅場を出たところ勝負で、数多く潜り抜け生き延びたものと思われまます

およそ30年遅れでこれから始まるであろう我らの業界の大変化、おそらくは横一線の公定価格が崩れるとともに多くが安泰と利権を失う混乱の中、一方で放棄寸前の資産を買い集めてオルガリヒ化するものが出てくる一方で、既存の関係者の多くは再編されつつも経済界の失われた30年のような低迷と混沌に沈むかもしれません。社会が変わる時、絶対に必要な職業だから安心という発想は無意味です。ジャガイモも日本銀行券も絶対に必要なものですが、それを行き渡らせるシステムが正常に機能しなくなれば、ジャガイモ自身の努力ではどうにもならず、子供が飢えているのに大量に倉庫でカビていたり、低金利でジャブジャ

ブ刷られたお札が借金で首の回らない人には全く素通りということも起きるわけです。

そういう本当に壊れた社会 というものを知る戦前世代はほぼ退役なさいました。その次の、戦争を知らない子供たちさえもう十分に歳を取る中で、真の混乱期が来たとき、どんな世代のどんな人たちが次の時代を切り開くのか。我が業界の外ではさらに不穏な空気が日常化し、戦争というある意味日本人の大半には空想上の悲劇であった現実が、世界のそこかしこで実在する時代、平和の歌を口づさんでいてもそれが手に入らないことは、明白になってしまいました。さらには災害、特にもう秒読みかと思われる南海トラフや（この原稿が皆さんのお手元に届く前に現実化しないことは切に祈ります）その前後にありうる富士山噴火等、人間のせいではないにせよ、火山地震国ゆえの自然の恵みを楽しんできた日本人にはこれも避けては通れないものとして学習と対策が必須ですが、なかなかそうは思っても何かするかというと、というのが人間の性でしょう。

少しの希望としては、大きな災害等で社会秩序が消失した時には、北斗の拳やマッドマックスのようなかつての名バイオレンス系作品のように、どこからともなくモヒカンにタトゥーの輩がバイクに乗って集まり、暴力だけが支配する世になる、という話は現実には起きないらしく、人は真の混乱の中では意外に協力し合うものだそうで

す。阪神や東北の大震災しかり、アメリカでもフロリダのハリケーンの際には家を失った被災者本人たちが最も率先して救助や救援に当たる姿が当たり前にみられたそうです。確かに困難に直面した際、殺し合ってる奴らより、助け合ってる人々の方がより多く生き延びるのは生物学的に確実です。もちろん横並びの暴走で湖にダイブして大量絶滅するネズミさんのようなパターンもあります。が。（ちなみに今年は百？年に一度全国の破竹が同期して開花し枯れる年のようで、市大の大先輩故開高健の出世作「パニック」はこのネタでした）

さてもう一度、身近な市整会に話を戻し、と書いて、皆さんにとってすでに市整会が日常意識されることもない遠い存在になっていることを最も危惧しています。とはいえそんな無関心が許されるのはまだまだ世の中が平和すぎるからかもしれません。

果たして市整会という輪はこれからも動的に回り続けることができるのでしょうか。寄り添い一体化して回さねば生き残れないような過酷な環境は望むところではありませんが、会員の皆様様の熱い無私な志によってのみこの輪が回ることだけは間違いありません

4年後私が無事退役のご報告を、新しい時代のうねりとともにお届け出来ることを切に望み、皆様様の熱いご支援をお願いしたく、就任のご挨拶とさせていただきます。



退任のご挨拶

市整会 前会長 西澤 徹（昭和62年入局）

5月31日、5年間の市整会会長職を退き、小竹志郎新会長に受け継いでいただきました。肩の荷が下りホッとするのかと思ってましたが、新会長をどれだけ支えられるかを思案する毎日です。

コロナ禍の令和2年、あべのハルカスの会議室で数人の理事に囲まれ会長に就任いたしました。総会を開くどころでなく、自院の安全、経営の行く末に皆さん頭がいっぱいだったと思います。

就任早々物議をかましたのが「このままでは市整会は解散しかない」という私の発言でした。これには諸先輩方から多くのご批判、叱責いただきました。

平成9年の開業時に市整会に暖かく迎えていただいて以来、家族で市整会を堪能してきた私は、「市整会愛」は人後に落ちないと自負しております。

だからこそその危機感の表明でした。

学術講演会、家族会は盛況でしたが、その多くが私より年上の先生方で、幅広い参加を得るのは新年会だけでした。先輩方が退かれるとき、市整会は成立しないと感じておりました。私に会長職が与えられること自体、人材不足の証左です。

まず考えたのは、若手の登用でした。市整会創立50周年式典を機に、その実行委員になってもらい、理事職として講演会の座長もお願いすることができました。しかしまだまだ不十分です。

学術講演もOCAOを真似るのではなく、身近な話題を選んだり、公大同門の講演を意識して増やすように努めました。寺井新教授を迎えたことも関係するのか、勤務医の参加も増え、一定の成果は出ているのかもしれません。ただ依然若手会員の参加は少なく、コロナ以後専門医単位をWEBで取得できることも一因かと考えます。同門で切磋琢磨することに意義を感じない会員が増えているのかもしれません。製薬会社の後援は先細るでしょうから、参加者の少ない講演会は淘汰されます。

家族会が一番若い先生の参加が60歳を超え、町内の老人会と化しております。私など妻子を連れて参加してきましたので、子供向け企画も実行しましたが、効果はないようです。大人の世界に触れる良い機会だと思うのですが。家族会の開催は今後困難になるように感じます。

連絡網の構築も急務です。未だFAXが幅を利かす医療界は異常です。総務の事務量軽減のため、MLを活用しようと考えましたが、もはやLINEが主体と知り、世代間断絶を痛感します。再構築中のHPと連絡網がリンクし、会員は自らHPより情報をとり、行動をする形式になるのではと考えます。迅速な連絡はLINEででしょうか。会報も編集者の後継が現れなければHPへの吸収も一考に値します。

いくら省力化しようとも、会務には必ず担当者が必要です。学術はまだ得意分野を振り分けられたいいでしょうが、総務、会計に担当がいなくなれば会務執行は不可能になります。ここに絶望に近い最大の危惧を覚えます。

市整会が弱体化すれば、同門会における大学、勤務医、開業医のパワーバランスが崩れます。さすれば、今まで市整会全体の事案として扱ったものが、個人と医局の関係に矮小化されます。医局とのパイプが細い会員はワリを食います。今後議論になるであろう「同門会内での承継」も集団の力が必要です。市整会の結束を維持せねばなりません。

市整会に一体感を求めるのはもはや困難でしょう。総花的な活動は新年会くらいか、それとて。新研修医制度、コロナ禍の経験を経て、人心は大きく変容しました。それを理解したうえで市整会は変わらなければなりません。そのためには年配会員は静かに若者の活動にただただ協力する。そして若い会員におかれては自分の利益のため、その歴史を尊びつつ市整会を活用して会務に参加してほしい。声を挙げないと組織が変わらないの

は、国政が老人向けなことからも自明です。開業資金が1億5千万とも巷間伝わる医療者受難の時代に、会務に参加する気など起こらない気持ちも理解できます。ただそこを、軽やかに乗り越える意気地を期待するものでもあります。

残務を後継会長の責任にせぬよう異例の5年目をお願いしましたが、中村博亮先生のご退任、寺井秀富先生の新教授就任を予期できず、世代交代が大学に後れをとりました。これは大きな誤算で

した。「責任は自分がとる」など単なる自惚れであったと反省しております。

小竹新会長以下執行部には、急進的なまでの世代交代をお願いしたい。

最後に、こんな私を支えていただいた理事始め会員の先生方に深くお礼申し上げます。

私は今後一兵卒として、「四の五の言わず」大好きな市整会の存続のために汗をかいてまいります。



令和7年度 市整会 総会

日 時：2025年5月31日（土）15：30～16：30

場 所：ハートンホテル北梅田 貸会議室 2階ぐんじょう

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-12-10 TEL 06-6377-0810

懇親会会場：Liben（リベン）：調整さんで先着20名

開会の挨拶で、西澤会長が開業された時、市整会会長を長田先生がされており、「お互い頑張ろう」と言って下さった事が嬉しくて入会した事や、5年前のコロナ禍の真ただ中に阿倍野の会議室で会長に就任された事など経緯をお話しして下さった後、会長になってからは色々な事を言って来たが、解散が決して望んでいる訳でなく、若い先生方の参加する様に頑張ったが力及ばずと言ったことを喋って下さった後、今の市整会にとって『無関心』である事が問題です等の今後の市整会を思っのコメントを頂きました。

総会出席の先生方（20名）

石崎嘉昭、鳴嶋真人、西上茂樹、秋野一男、斧出安弘、天野祐一、増田博、柳井尚浩、阪本博史、宮内晃、西澤徹、伊藤智康、北野利夫、森川献志漢、袴史明、小竹志郎、妻鹿良平、明石健一、中村卓、寺岡貴徳

欠席で委任状を頂いた先生方（67名）

名誉会員で返信の無い先生（50名）

懇親会出席予定の先生方（11名）

西澤徹、増田博、鳴嶋真人、秋野一男、斧出安弘、天野祐一、阪本博史、北野利夫、伊藤智康、袴史明、小竹史郎、森川献志漢

議 題

報告事項

- 1、会員の動向について（森川）
- 2、令和6年度事業報告（森川）
- 3、令和6年度会計報告（伊藤）
- 4、その他の報告事項

協議事項

- 1、令和7年度事業計画（森川）
- 2、その他の協議事項
- 3、令和7年度予算案（伊藤）

総会の成立について（森川）

会員192名、参加者20人、委任状67人、名誉会員50名…総会成立

報告事項

1、会員の動向について（森川）

名誉会員（4名）

安部治郎先生（昭和54年入局）（生年月日 昭和29年3月14日）
関谷博之先生（昭和55年入局）（生年月日 昭和29年6月10日）
宮脇裕二先生（昭和55年入局）（生年月日 昭和29年4月17日）
成田信哉先生（昭和56年入局）（生年月日 昭和29年12月22日）

死亡退会者の御報告（5名）

永田清員先生（昭和40年入局）、令和6年4月26日にご逝去
長田 明先生（昭和38年入局）、令和6年6月25日にご逝去
増田宗義先生（昭和54年入局）、令和7年1月26日にご逝去
前野岳敏先生（昭和41年入会）、令和7年5月16日にご逝去
許 国広先生（昭和44年入会）、令和7年5月2日にご逝去

退会（3名）

近藤正樹先生…高齢のため
堀澤欣弘先生（昭和54年）…閉院に伴い
猪瀬正美先生（昭和48年）…令和5年3月閉院に伴い

閉院（3名）

片上善嗣（昭和46年） 令和6年6月29日閉院
片上クリニック
〒578-0974 東大阪市鴻池元町10-45
堀澤欣弘先生（昭和54年）
堀澤整形外科
〒536-0021 大阪市城東区諏訪3-4-22 第2ティピカル1F
辻康之先生（昭和59年）
辻整形外科
〒635-0085 大和高田市片塩町3-2 堀田ビル1F

住所変更（1名）

玉田善雄（昭和57年）（16年間の北海道生活を終了され）
新）〒657-0065 神戸市灘区宮山町3丁目1-8 804

新入会（5名）

万代幸司（平成24年） 金沢医大卒（平成21年）
三国ヶ丘まんだい整形外科（令和6年5月1日開院）
〒590-0024 堺市堺区向陵中町1-5-25 メディカルケアモール三国ヶ丘1F
電話：072-275-5283 Fax：072-275-5273
松浦健司先生（平成3年） 7月開院
診療所 〒593-8324 堺市西区鳳東町6-637-1 2F
まつうら整形・肩肘スポーツクリニック
電話：072-272-6371 Fax：072-272-6372 Mail：info@mosesc.jp

北野利夫先生（平成1年）（令和6月7月29日開業）

〒665-0861宝塚市中山寺3丁目1-20
小児整形・整形外科 きたのクリニック
電話：0797-81-0028 Fax：0797-81-0029
sskitanoclinic.0028@kind.ocn.ne.jp
tkitanol4@gmail.com
https://sskitanoclinic.com/

中村卓先生（平成23年） 滋賀医科大学卒（平成●年）

佐野記念病院 整形外科
〒598-0013 泉佐野市中町2-4-28
電話：072-464-2111 Fax：072-461-1874

寺岡貴徳先生（平成23年）

よしもと整形外科・内科・糖尿病内科
〒593-8301 堺市西区上野芝1-11-29
電話：072-241-1188

2、令和6年度前期事業報告（森川）

R6.5.11（土）理事会（講演会なし、理事会のみ）

居酒屋鮮道 こんび 18：00～20：00

（理事61名中 参加者21人、委任状22人、名誉理事の先生で未返信12人

…合計54名で理事会成立）

R6.5.25（土）総会（講演会なし（科研製薬さんの共催なし）、総会のみ）の自前開催のみ）

中国食府 双龍居 天満駅前店 17：00より総会、18：00からお食事

（会員189名中 参加者23人、委任状64人、名誉理事の先生で未返信49人

…合計136名で総会成立）

R6.6.8（土）学術講演会 アーバンネット御堂筋ビル 3FホールA・B 15時～

共催：旭化成ファーマ

参加者 114名（市整会 39名、同門会 53名、非会員 61名）

講演1：「リハビリテーション医療の現状と対策について（整形外科疾患を中心に）」

座長：恵木丈先生

辻外科リハビリテーション病院 整形外科 副院長 中土 保 先生なかつちたもつ

講演2：「骨折のリスクを考えた骨粗鬆症薬物治療のフロントライン」 座長：水沢慶一先生

大阪南医療センター リハビリテーション科 医長 柏井 将文 先生

講演3：「保険診療の基本的ルール—個別指導における指摘事項の実際—

（整形外科、運動器リハビリ 編）

座長：柴田和弥先生

元自衛隊中央病院 院長（現関東厚生局） 千先 康二 先生（せんさき こうじ）

R6.6.23（日）スケルトンゴルフ

15人の参加

R6.9.28（土）理事会 『ごんべ』 17時～

参加者 15名、委任状 14通 (理事30名にて、理事会成立)

R6.10.6 (日) 中村博亮教授退任記念式典

帝国ホテル エンパイアルーム

記念誌への寄稿 天野先生、増田先生、馬野先生、西澤先生

式典 西澤先生 祝辞

R6.11.9 (土) 文化講演会 TKP大阪御堂筋カンファレンスセンター

参加人数：48名(役割者込み) 医師：40名(会員：24名、非会員：16名) 会員ご家族：8名

学術講演：まえだ整形外科 院長 前田学先生 座長：禰史明

「脊椎インターベンションエコーでどこまで可能になったか」

文化講演：立命館大学教授 精神科医 宮口 幸治先生 座長：西澤徹

演題名 「ケーキの切れない非行少年たちと頑張れない人たち」

著書「ケーキの切れない非行少年たち」

次期会長の負担になるので、会食のあっせんは、最後にします。あとは個人的に有志で。演者を招待。

R6.11.10 (日) 家族会

神戸須磨シーワールド観光、西村屋 和味旬菜で昼食。神戸ハーバーランドumieでお買い物。

参加総数 会員11名、家族大人10、お子様1人 合計22名

R6.12.8 (日) 市整会ゴルフコンペ 天野山CC 北コース 8時21分スタート

寺井教授も参加いただき、4組13人の参加

R7.1.25 (土) 新年会 ホテルリッツカールトン大阪 市整会自主開催 18:00~

(参加者：76名、会員：35名、御家族：39名)

R7.2.8 (土) エコー勉強会 中之島いわき整形外科 司会進行 禰史明

講師 まえだ整形外科 院長 前田学先生

R7.3.30 (日) 寺井秀富教授 就任披露祝賀会

3、その他の報告事項

1) 会員への連絡はデジタル化となった件

令和7年4月1日より市整会の連絡はMailとLINEの2本立てとなった。令和7年3月31日をもってアナログ伝達は終了。

MailとLINEの2本立て、HPを活用する。

メーカーの協賛のある講演会の案内状の郵送は継続するが、自前開催のものは本年度の総会の案内をもって郵送は廃止する。(案内状にメーリングリストへの加入のお願いと、LINEのQRコードを張り付けるをお願いをする)

Faxについてはこれまでの案内状は不要とされていた先生方にも全員お送りする方針に決まった。(業務の削減の為)

案内はデジタル化を推進するうえでFaxは総会、新年会、家族会、訃報の4項目だけにする。デジタル化に伴い、出欠の意思表示は、その都度【調整さん】にて集計する。

2) 役員を下記のように改変した

昨今委任状の返送率が低下し出席者も少なくなり、理事会の開催そのものが危ぶまれる事態となっている。

諮問委員会はいったん廃止し、休眠理事にはご退任いただき理事会の再構築を開始した。また、すべての市整会行事への参加者が激減している状況を鑑み、今後の市整会のあり方を議論することを新会長にはお願いしたい。

3) 今後市整会会員の承継が進むと考える。医局と連携して同門会会員間での承継が進むよう、組織を立ち上げる必要がある。M&A業者による多額のピンハネを阻止するため理事会で検討したところ、OCOの宮田先生が奈良県立医大との間で、システム作りを現在進行中である意見も頂戴し、今すぐではなく市整会としても検討項目とさせて頂いた。

4) 市整会HPが閲覧できない状態になっております。鋭意復帰作業中

市整会HPが借りていた、レンタルサーバー会社が業績不振で飛んだため閲覧不可になっています。

現在HP管理を委託している業者が、新たなレンタルサーバー会社を探している状況です。

今までの市整会HPがそのまま復旧できるか否かは現在不明です。

斧出先生と業者さんのおかげで、HPの表紙などは復旧できている現状であることを報告させて頂きますが、復旧困難な場合には新たなHP立ち上げに相当な資金を要するものと考えます。

さらには、HP管理会社を替えるのかですが、これは継続し暫定であれ、早急な継続が必要と考えます。

市整会側は誰が管理するのも議論が必要です。

まずは、市整会HPの現状を、会員MLで告知し、どう継続するにせよ、HPの造りなおしから始まるので費用が発生す事です。

HPについての議論を始めることなどを周知させたいと思います。

若い先生方に、メインになってもらって、新しいホームページを立ち上げてもらいたいと思っています。

理事会にて報告させて頂きました。

5) 6月の学術講演会で、協賛の旭化成ですが次年度以降は継続不可とのことでした

6) 長田先生の奥様より、市整会に寄付を頂き、感謝状などを贈ることを、理事会で検討したところ、どこかの会合に奥様（もしくは御子息様）を招待し、その際に感謝状を贈らせて頂く方向で理事会で決まりました。

7) その他の報告事項は有りませんでした。

4、令和6年度会計報告（伊藤）

協議事項

1、令和7年度事業計画（森川）

R7.4.12（土）学術講演会 本町オービックホール2階 共催：久光製薬 15：50～

（参加者：29名、会員：20名、勤務医：4名、その他3名、演者：2名）

講演1：「腰痛症に対する全身作用型の貼付剤の使い方を知る」 座長 竹中稔幸

岡山大学学術研究院医歯薬学域 運動器スポーツ医学講座講師

岡山大学病院運動器疼痛センター副センター長 鉄永倫子先生

講演2：「地域包括ケアから考える骨折対策」 座長 袴史明

産業医科大学 公衆衛生学講座教授 松田晋哉先生

病院紹介：十三市民病院 坂和明先生

R7.05.17（土）理事会（講演会なし、理事会のみ）18：00～21：00

（会員189、理事30名中、参加者13人、委任状5人、…理事会成立）

「こんび」TEL：06-6770-5305 大阪府大阪市天王寺区堀越町13-15

R7.05.31（土）総会（講演会なし（科研製薬さんの共催なし）、総会のみ）の自前開催のみ）

会員192名、参加者20人、委任状67人、名誉会員50名…総会成立

総会：15：30-16：30

ハートンホテル北梅田 貸会議室（2：30～3時間で予約？）

懇親会：調整さんで先着20名

<https://chouseisan.com/s?h=45b4a6b02907457ab3001122e10cca0f>

Liben（リベン） 午後5時から7時半 市整会 総会 懇親会（liben）| 調整さん

<https://savvy.jp/post/food/post-20724/>

会費は1万円

R7.06.14（土）学術講演会 共催：旭化成

講演1：「小児整形外科疾患の診療連携—診療のコツと超音波検査の活用—」

大阪公立大学医学部医学研究科 整形外科学教室 講師 新谷康介先生

講演2：「思春期特発性側弯症治療の最前線—側弯症センターにおける治療アプローチ—」

大阪市立総合医療センター 側弯症センター センター長 松村昭先生

講演3：「骨形成促進薬に関する最新の知見

—テリパラチド、ロモソズマブ、アバロパラチドの特徴について—」

名戸ヶ谷病院 整形外科・顧問 川口浩先生

R7.6.22（日）スケルトンゴルフ 天野山カントリークラブ

R7.11.08（土）文化講演会 協賛 第一三共

講演1：大学の岡野先生

講演2：東京科学大学 タリージェ関連の講演

R7.11.09（日）家族会 京都太秦映画村 しげつでお食事

R7.12.7（日）市整会ゴルフコンペ

市整会の講演会の実施にあたっては、後援メーカーからOCAと重ならないよう要請があるが、早くから人選できないことになる。

文化講演会は日本臓器の後援は昨年が最後だが、今年は第一三共が後援する。継続未定。恵木先生の尽力による。

金銭的な事を含め、協賛メーカーが変わるので、申し送りをきっちりしておいてもらう意見が有りました。

2、その他の協議事項

- 1) ゴルフコンペにおいて久保卓也先生に主な担当を天野先生から交代しました。すると、若手の先生が続々と参加表明してくれて既に昨年の倍する35人になろうとしています。そこで福利厚生予算のうちのゴルフ関連の予算の増額を理事会にて検討したところ、25万円を上限に増額の方針で意見の一致が見られました。

今後、25万のうち余ったお金をプールし、貯まったお金で女子プロを呼んでコンペをする案が有るが基金の問題も有り、どこがそのお金を管理するか？等の検討項目が有り25万円の増額はするが、それ以外の項目は今後の検討項目となりました。

2) その他の協議事項

UMINのサーバーから、エラーメッセージが、届きました。

数名の先生方にメールが届いていない可能性があります。gmailに、何か不具合があるのかも知れません。

できれば、他のメールアドレスをお持ちの先生方がおられましたら、斧出先生まで、ダイレクトメールで結構ですので、お知らせください。順次、差し替えさせていただきます。今後のMLのあり方について、皆さんでご検討を、よろしく御願います。

- 3) 総会で正式変更 市整会名称：大阪公立大学整形外科開業医会 市整会 に変更する。

- 4) これまで、増田先生が学術並びに健保介護診療担当副会長をしてくださっていましたが、増田先生が監事をして下さっているのです、新しく恵木先生に役職をお願いする案が出ました。

5) 次期会長選任、副会長選任

次期会長に小竹志郎先生が、理事会で承認されました。

そこで、小竹次期会長から今後の市整会の在り方について理事の先生方に質問が有り、話し合った所、若手の先生方の参加が少なく、執行部も年齢を重ねてきている現状が有り、今後は規模の縮小などを考えないといけない時期が有るかもしれませんが、市整会存続の方向で理事の意見が一致しました。

会長交代承認を経て今総会中に決議したい案件を小竹新会長から提案が有り、総会にて下記の事が認証されました。

- 1 今後市整会の人事、約款の変更、その他決議案については理事会、総会の開催を待たずWEB上のフォームまたは会議にて随時行う
- 2 議案の提出は会長、副会長、または二名以上の理事連名による
- 3 名誉理事、名誉会員含め返信のない場合は議長または会長に委任したものとする

下記に加えて、役職を記載するお願いがありました。

市整会役員

会 長	小竹 志郎						
副会長	馬野 隆信	竹中 稔幸	恵木 丈				
会 計	伊藤 智康						
総 務	森川献志漢						
名誉会長	吉中 正好	南平 克積	鳴嶋 真人	天野 祐一	西澤 徹		
顧 問	黒田 晃司	楯 憲一郎	安田 浩成				
議 長	鳴嶋 真人						
副議長	斧出 安弘						
監 事	増田 博	柳井 尚浩					
理 事	石崎 嘉昭	鳴嶋 真人	宮脇 裕二	斧出 安弘	田中 直史		
	天野 祐一	増田 博	馬野 隆信	柴田 和弥	阪本 博史		
	高山 優	西澤 徹	竹中 稔幸	大川得太郎	伊藤 智康		
	恵木 丈	日下 昌浩	木下 裕介	鱧永 浩	岩城 啓好		
	姜 良勲	袴 史明	森川献志漢	越宗 勝	水沢 慶一		
	小竹 志郎						

- # 講演会の座長については、職務に関係なく輪番で行うこととする
- # 同門会、勤務医会との連携を模索するタスクフォース結成を考える

役員職務分掌

福利厚生担当副会長	馬野 隆信				
福利厚生担当理事	天野 祐一	田中 直史	高山 優	大川得太郎	
	木下 裕介				
会計	伊藤 智康				
学術並びに健保介護診療担当副会長		恵木 丈			
学術担当理事	竹中 稔幸	岩城 啓好	恵木 丈	袴 史明	
	水沢 慶一				
健保介護診療担当理事	馬野 隆信	大川得太郎	日下 昌浩		
総務・広報 並びにIT委員会 担当理事副会長			竹中 稔幸		
総務担当理事	森川献志漢	阪本 博史	日下 昌浩		
広報担当理事	宮脇 裕二	天野 祐一	鱧永 浩	越宗 勝	
	木下 裕介	姜 良勲			

6) 定款変更について

第8章 定款ならびに解散（アンダーラインが追加項目となります）

第3条 この会は大阪公立大学整形外科学教室との連携を保ち、本会員の資質向上を図り、会員相互の協調と親睦扶助を推進することを目的とし、次の事業を行う。

(2) 公立大学整形外科教室との学術交流および相互援助に関する事項

第4条 大阪公立大学整形外科教室同門会員開業医、およびこの会の目的に賛同して入会を希望する者を会員とする。

第4条の5として

会員は速やかな事務連絡を行うため、メールアドレスを登録する義務を負う。

また変更ある場合は速やかに報告する義務を負う。

第8条 1. 役員任期を原則2年とし、重任を妨げない。

任期途中で退任する場合は理事会を開催し後任を互選し、速やかに総会にて選出する

第24条 この定款は総会において3分の2以上の同意を得なければ変更することが出来ない。

第25条 この会が解散したときの残余財産は、総会の決議を経たのち処分する。

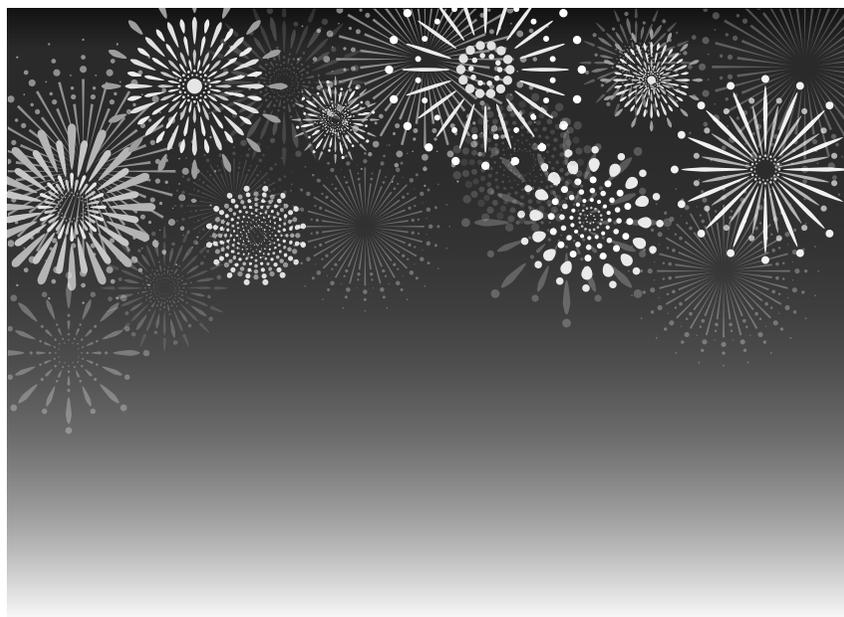
第26条 原則すべての連絡は、デジタル通信をもちいる。尚、理事会・総会などすべてにおいて返信のない会員は、会長（もしくは議長）に同意または委任したとみなす。

第9章 付則

第27条 この定款による会務の実施について必要な細則および諸規定は、総会の承認を得て別に定めることが出来る。

7) その他の協議事項は有りませんでした

3、令和7年度予算案（伊藤）



令和6年度収支計算書・令和7年度予算書

令和6年度収支計算書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

1. 収入の部

科目	令和6年度予算額	令和6年度決算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥4,860,000	¥4,575,000	¥-285,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,860,000	¥4,575,000	¥-285,000
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥100	¥4,823	¥4,723
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥350,000	¥407,000	¥57,000
小計	¥350,100	¥411,823	¥61,723
当期収入合計	¥5,210,100	¥4,986,823	¥-223,277
繰越金	¥7,500,978	¥7,500,978	¥0
合計	¥12,711,078	¥12,487,801	¥-223,277

2. 支出の部

科目	令和6年度予算額	令和6年度決算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥100,000	¥74,607	¥-25,393
第2項 事務用品費	¥10,000	¥755	¥-9,245
第3項 渉外費	¥100,000	¥0	¥-100,000
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥250,000	¥115,362	¥-134,638
第2款 各部活動費			
第1項 総務部	¥1,200,000	¥1,468,341	¥268,341
第2項 学術部	¥1,100,000	¥1,070,000	¥-30,000
第3項 福利厚生部	¥750,000	¥513,639	¥-236,361
第4項 広報部	¥450,000	¥487,300	¥37,300
第5項 税務部	¥10,000	¥0	¥-10,000
第6項 雑費	¥10,000	¥8,085	¥-1,915
第7項 学術積立金	¥200,000	¥200,000	¥0
第8項 55周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥4,720,000	¥4,747,365	¥27,365
第3款 慶弔費	¥200,000	¥99,000	¥-101,000
第4款 予備費	¥7,541,078	¥0	
当期支出合計	¥12,711,078	¥4,961,727	
次期繰越金		¥7,526,074	
合計	¥12,711,078	¥12,487,801	¥-223,277

内 訳

1. 収入の部

年会費収入	151/193名（閉院30名、未納12名）他 ※1、※2 ※1 閉院に伴い前期分のみ 1名（¥15,000×1） ※2 来年度分も当年度に入金 1名（¥30,000×1） ¥30,000 × (193-30-12+0.5+1)	=	¥4,575,000
利息	医師信用組合 三井住友銀行		¥2,810 ¥2,013
その他の収入	学術講演会等参加費等（6/8 旭化成、11/9 日本臓器）		¥407,000

2. 支出の部

事務費

第1項 通信費	FAXネット・ネットバンキング・郵送代等	¥74,607
第2項 事務用品費	宛名用ラベル	¥755
第3項 渉外費		¥0
第4項 事務弁償費	総務 会計	¥20,000 ¥20,000

各部活動費

第1項 総務部	会議費（総会、理事会） 情報交換会 2回（6/8、11/9） 新年会 ザ・リッツ・カールトン（会場費¥1,403,174-会費¥756,000） 新年会バンド出演料 新年会カメラマン代（交通費含） 表彰状代 ネームプレート代 ホームページ関連（サーバー代） 30days album 年間使用料	¥286,440 ¥196,567 ¥647,174 ¥250,000 ¥31,000 ¥9,800 ¥15,000 ¥28,400 ¥3,960
第2項 学術部	文化講演会講師料 大学医局出張費援助金	¥270,000 ¥800,000
第3項 福利厚生部	家族会 ゴルフ景品代等（スケルトンコンペ¥54,660、市整会コンペ¥56,699）	¥402,280 ¥111,359
第4項 広報部	会報印刷代等	¥487,300
第6項 雑費	振込手数料等 残高証明書手数料	¥4,785 ¥3,300

慶弔費

	祝花、供花	¥99,000
--	-------	---------

令和7年度予算書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

1. 収入の部

科目	令和6年度予算額	令和7年度予算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥4,860,000	¥4,830,000	¥-30,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,860,000	¥4,830,000	¥-30,000
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥100	¥100	¥0
第2項 寄付金収入	¥0	¥1,000,000	¥1,000,000
第3項 その他の収入	¥350,000	¥400,000	¥50,000
小計	¥350,100	¥1,400,100	¥1,050,000
当期収入合計	¥5,210,100	¥6,230,100	¥1,020,000
前期繰越金	¥7,500,978	¥7,526,074	¥25,096
合計	¥12,711,078	¥13,756,174	¥1,045,096

2. 支出の部

科目	令和6年度予算額	令和7年度予算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥100,000	¥100,000	¥0
第2項 事務用品費	¥10,000	¥10,000	¥0
第3項 渉外費	¥100,000	¥100,000	¥0
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥250,000	¥250,000	¥0
第2款 各部活動費			¥0
第1項 総務部	¥1,200,000	¥1,250,000	¥50,000
第2項 学術部	¥1,100,000	¥1,100,000	¥0
第3項 福利厚生部	¥750,000	¥750,000	¥0
第4項 広報部	¥450,000	¥450,000	¥0
第5項 税務部	¥10,000	¥10,000	¥0
第6項 雑費	¥10,000	¥10,000	¥0
第7項 学術積立金	¥200,000	¥200,000	¥0
第8項 55周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥4,720,000	¥4,770,000	¥50,000
第3款 慶弔費	¥200,000	¥200,000	¥0
当期支出(第1~3款)合計	¥5,170,000	¥5,220,000	¥50,000
第4款 予備費	¥7,541,078	¥8,536,174	¥995,096
合計	¥12,711,078	¥13,756,174	¥1,045,096

市整会資産(令和7年3月31日現在)

	R6.3.31時点	入金	利息	R7.3.31現在	増減	
医師信用組合普通	¥3,892,388		¥2,810	¥6,128,658	¥2,236,270	一般会計
学術基金(医師信スパー定期・2059738)	¥1,042,410		¥156	¥1,042,566	¥156	
学術基金(医師信スパー定期・2059746)	¥1,162,968		¥173	¥1,163,141	¥173	
小計	¥6,097,766			¥8,334,365	¥2,236,599	
三井住友銀行(市整会)	¥3,239,200		¥2,013	¥1,089,184	¥-2,150,016	一般会計
学術積立金	¥6,810,442	¥200,000	¥2,570	¥7,013,012	¥202,570	
55周年積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥378	¥2,000,378	¥1,000,378	
事業基金(30、35、40周年残金)	¥4,065,756		¥1,912	¥4,067,668	¥1,912	
小計	¥15,115,398			¥14,170,242	¥-945,156	
渉外準備金	¥12,680,326		¥5,965	¥12,686,291	¥12,686,291	
現金	¥369,390			¥308,232	¥-61,158	一般会計
合計	¥34,262,880			¥35,499,130	¥1,236,250	¥7,526,074 (一般会計合計)

会計監査報告書

令和6年度市整会（大阪市大整形外科開業医会）の歳入歳出につき、慎重監査いたしましたところ、適正に処理・管理されたことを認めます。

令和 7 年 5 月 23 日

監事

増田 博



令和 7 年 5 月 26 日

監事

柳井尚浩



第32回 市整会ゴルフコンペ

令和6年12月8日

担当理事 天野 祐一（昭和57年入局）

新教授の寺井先生をご招待しての市整会ゴルフコンペを晴天の天野山カントリークラブにて開催しました。結果はメンバーの強みを活かして田中直史先生が連覇しました。

寒さのせいか皆さん実力を発揮出来ずスコアの傾向でしたが、伊藤智康先生と若手の久保卓也先生が頑張ってベスグロを競いました。

また、次回のスケルトンゴルフコンペからゴルフ関連事業は主幹事を久保卓也先生に交代し、ゴルフコンペを通じた同門会、大学、勤務医会との交流を深めてゆくことになりました。久保先生は色んなプラン、企画をお持ちのようで楽しみにしています。

市整会ゴルフコンペ 2024.12.8 天野山CC 参加者13名

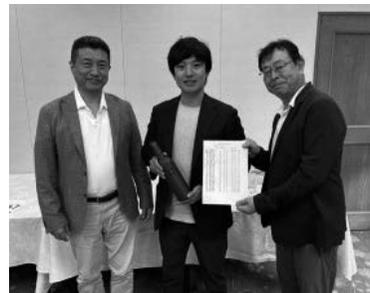
順位	競技者名	北	東	グロス	ハンディ	ネット
優勝	田中 直史	48	51	99	24.0	75.0
2位	伊藤 智康	52	40	92	16.8	75.2
3位	西澤 徹	51	50	101	25.2	75.8
4位	久保 卓也	44	49	93	16.8	76.0
5位	恵木 丈	53	51	103	25.2	78.8
6位	馬野 隆信	59	55	114	34.8	79.2
7位	天野 祐一	53	52	105	25.2	79.8
7位	小竹 素人	56	49	105	25.2	79.8
9位	秋野 一男	52	59	111	28.8	82.2
10位	増田 博	64	53	117	34.8	82.2
11位	寺井 秀富	59	51	110	26.4	83.6
12位	禰 史明	56	49	105	20.4	84.6
13位	吉田研二郎	60	56	116	31.2	84.8



第30回 スケルトンゴルフ

2025年6月22日（日） 天野山カントリークラブ

担当理事 久保 卓也（●●●●年入局）



今回よりスケルトンゴルフの担当を、天野先生より引き継ぎました、天6 整形外科の久保卓也と申します。

今年度のスケルトンゴルフコンペは、晴天に恵まれた大変素晴らしい一日で、青空が広がり、心地よい風が吹く中、天野山の自然に囲まれた美しいコースを回らせていただきました。

参加者の数は9組34名（開業医19名 勤務医15名）と多く、市整会開業医と勤務医で幅広い年齢層の先生方が集まっていただきました。

市整会のコンペ参加常連の先生方はもちろん、今回は新教授になられた寺井教授をはじめ、たくさんの勤務医の先生にも参加いただき、大変感謝しております。

特に今回は若手の先生方も参加していただき、活気も一段と増したコンペとなりました。

ラウンド中、時折ニアピンやバーディーを決めた歓声が聞こえると、周囲のプレイヤーたちも気合いが入り、さらにモチベーションが高まりました。

互いに声を掛け合ったり、冗談を言い合ったりして、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

私個人としましても、開業してから久々に勤務医の先生方とのコミュニケーションを楽しむことができた貴重な機会であり、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

楽しいコンペの後は表彰式が行われ、優勝者含め約半数以上の参加者に賞品が授与されました。

今回の賞品は開業医の先生方に協賛していただき、豪華な賞品を用意することができました。

今回が初の幹事として参加するコンペでしたが、僭越ながら優勝させていただくことが出来ました。最終ホールにてまさかの2OBを打ってしまいましたが、幸いにもそちらが隠しホールになっていた事も功を制しました。

準優勝には前会長の西澤先生が、3位には鄭先生が入賞されました。

今後のスケルトンゴルフコンペについても、市整会の先生方はもちろん、勤務医の先生方や若手の先生方も含め、さらなる参加者増加に大いに期待しております。

最後に報告となりますが、今回は開業医5000円、勤務医3000円の会費を集めさせていただき、市整会自体の支出としては1.3万円程度となりました。

予算編成していただき、ゴルフ関連の年間支出を上げていただきましたが、今回は抑えることが出来ました。

実現できるかは分かりませんが、この年間の予算の余りをプールしていき、ある程度の額に達したところで、例えば組に1人ずつプロを呼んでラウンドするコンペなども開催するなどができ

ば、非常に面白いコンペにもなりますし、また勤務医の先生方へのお誘いの一手にもなるのではないかと愚考しております。

今後もスケルトンゴルフを盛り上げていきたいと思っておりますので、毎年たくさんのご参加お待ちしております。

宜しくお願い致します。

第30回スケルトンゴルフ

順位	競技者名	西	北	GROSS	HDCP	NET
優勝	久保 卓也	44	44	88	15.6	72.4
準優勝	西澤 徹	49	46	95	21.6	73.4
3位	鄭 明和	48	40	88	14.4	73.6
4位	北村 知也	51	58	109	34.8	74.2
5位	金城 養典	44	46	90	15.6	74.4
6位	禰 史明	51	45	96	21.6	74.4
7位	牧 修平	53	55	108	33.6	74.4
8位	小阪 寿憲	46	42	88	13.2	74.8
9位	秋野 一男	43	51	94	19.2	74.8
10位	林崎 広	48	45	93	18.0	75.0
11位	小竹 志郎	45	48	93	15.6	77.4
12位	喜多 義将	49	42	91	13.2	77.8
13位	村上 将一	49	48	97	19.2	77.8
	岡崎 史朗	48	49	97	19.2	77.8
15位	渡辺 享永	47	55	102	24.0	78.0
16位	香月 太郎	51	56	107	28.8	78.2
17位	寺井 秀富	56	57	113	34.8	78.2
18位	天野 祐一	47	47	94	15.6	78.4
19位	松本 一伸	55	50	105	26.4	78.6
20位	臼井 俊方	51	53	104	25.2	78.8
21位	伊藤 智康	47	50	97	18.0	79.0
22位	鈴木 啓介	46	50	96	16.8	79.2
23位	吉田研二郎	54	58	112	32.4	79.6
24位	奥田 均	51	54	105	25.2	79.8
25位	馬野 隆信	49	49	98	18.0	80.0
26位	鳥飼 大剛	51	55	106	25.2	80.8
27位	玉井 孝司	53	50	103	21.6	81.4
28位	豊田 宏光	53	49	102	20.4	81.6
29位	谷 亮佑	66	55	121	36.0	85.0
30位	大戎 直人	56	52	108	22.8	85.2
31位	葛城 智範	63	51	114	28.8	85.2
32位	鈴木 享暢	53	71	124	36.0	88.0
33位	藪 普人	69	61	130	36.0	94.0
ドラコン賞		北2 鄭先生、渡辺先生		西8 村上先生、禰先生		
ニアピン賞		北3 鄭先生、北村先生 西4 伊藤先生、秋野先生		北7 金城先生、大戎先生 西7 林崎先生、秋野先生		

家族会のお知らせ

福利厚生担当 大川得太郎（昭和62年入局）

京都太秦映画村

日時：令和7年11月9日(日)

2024年の映画会は日本の時代劇の見直しと、大躍進の年でした。アメリカのエミー賞は真田広之の「将軍」が各賞を総なめしました。日本は、なんと7500万円で作られた、インディーズ映画の「侍タイムスリッパー」が作品賞を受賞しました。確実に日本の時代劇に風が吹いております。と言うことで、今回は日本時代劇のメッカである、京都太秦映画村を選びました。侍タイムスリッパーは、監督が、5万回切られた男で有名な、福本清三さんに送っていた脚本を、(残念ながらご逝去され出演かなわなかった)。京都太秦映画村のスタッフが、素晴らしいと感激し、低予算で全面協力して出来た映画です。聖地巡礼にもなります。今回は、京都太秦映画村の実際の時代劇俳優さんに、太秦映画村のセットのこぼれ話を交えながら、案内して頂きます。その後は、自由観光です。実は、予め私が家族と観光してきました。時代劇映画のセット以外に、面白いアトラクションが多いのに驚きました。一番は忍者ショー、2番はお化け屋敷、3番は忍者屋敷4番はチャンバラ体験がお勧めです。時代劇の素晴らしさと、太秦映画村の素晴らしさを再確認出来ますので、是非お子様も交えてご参加をお願い致します。

お昼は、天龍寺直営の「飾月」で本物の精進料理を味わっていただきます。「飾月」は、「ミシュランガイド京都・大阪 2025」にビブグルマン（価格以上の満足感が得られる料理）とミシュラングリーンスターとして掲載されました。精進料理は、鎌倉時代・禅宗の教えとともに中国から伝えられた料理です。それは禅宗の修行の一つ（食べること）の精神と自然の調和から生まれる心の自由を味わうために完成された調理法であり、厳選された新鮮な四季折々の素材を、心を込めて整えることから始まり動物性の素材を一切使用せず野菜・山菜・野草・海草類を主にした素材で健康に優れた料理です。ご賞味ください。

お食事後は、世界遺産の天龍寺のお庭の曹源池庭園の観光も予定しております。家族会は、お子様連れから、ご年配の方まで幅広く、気楽に親睦を深める場として、毎年好評を頂いております。特に今回は、新しい会員の方々のご参加を期待しております。どんどん応募下さい。

なお、詳細は9月に入ってから、改めてご案内させていただきます。皆様どうぞ御家族そろって、家族会を楽しんで下さい。





アルバイトのアラカルト

石崎 嘉昭（昭和37年入局）

産経新聞のアルバイト

昭和29～30年ごろ旧産経ビルに新聞印刷工場がありそこには多くの輪転機が置かれていました。当時翌日の朝刊の最終稿が終わる午後九時過ぎから印刷が始まり、刷り終わる未明まで輪転機が稼働し、ガチャン、ガチャンと会話が聞こえないほどの大きい音を立てて一枚ずつ新しい新聞が刷り上がっていきました。我々アルバイトは輪転機一台に一人ずつ配置され、印刷された新聞が3～40センチの高さに積みあがると縫うように走るベルトコンベヤーに載せる作業を続けました。積みあがっていく新聞の山が崩れたら大変なことになるので担当者は印刷の終わりまでその場を離れることは出来ません。大音量とインクの匂いの充満した工場での作業は別世界の体験でした。コンベアの終点には別の担当者が次々と送られてくる新聞を広いスペースに並べていきました。印刷が終わる早朝にすべてのメンバーが集まり、送付先（例えば長浜、彦根など）の決められた枚数ごとに荒縄で括り表に地域名を書いた紙を付ける。その後地方ごとに束ねた新聞をトラックの荷台に積み込み我々も同乗して（当時は許されていた）、大阪駅の一番列車のプラットホームに作業用エレベーターを使って運び、貨車の停車位置に並べて作業は終了となります。

その後同じトラックで新聞社に帰り、始発電車の発車時間まで大部屋の休憩室で工具さんらと雑魚寝で仮眠をとりました。

当時の西梅田一带は大きい建物もなく場末の雰囲気がい、その後の再開発で旧産経ビルもブリーゼタワーに生まれ変わり高層ビル群が立ち並ぶ近代的な雰囲気に一変しました。ブリーゼブリーゼを訪れるたびに往時の事を思い出します。

明治屋のアルバイト

当時は本町にあってブランド商品なども扱う食

品の専門店でした。高校時代の友人の伝手で約二年間彼らと一緒に、夏休みや冬休みのお盆とお歳暮の時期に自転車で配達の仕事をしました。配達地域は住吉区や東住吉区、中央区が多く、住まいのあった東成区や土地勘のある生野区や、西成区は皆無でした。

富裕層が多かったのか、偶々私の担当がその地域だったのかも知りません。

朝お店に出勤するとその日に配達する何軒かの住所氏名を書いた紙と地図を渡され、あらかじめルートの見当をつけて自転車の荷台に品物を積み込んで出発します。大阪の街は京都のように整然と区画されているのではなく、例えば3丁目の次に4丁目があるとは限らず、番地も同様に順序よく並んでないこともあり移動時間より目的地を探すのに時間を取られました。

現在ならスマホ片手に外国に行っても目的地にたどり着けるようですが…。

配達先を見つけれない場合最も頼りになるのがお米屋さん（米穀店）でした。当時お米は配給制度で地域のお米屋さんを通じてしか手に入れることは出来ませんでした。地域の住民は米穀通帳を持ってお米を買いに行きました。その次はタバコ屋さんでした。そのころは多くの男性は煙草を吸っていたし専売制度でタバコ屋さんでしか煙草を買えなかった。そのためお米屋さんやタバコ屋さんは地域の各家の所在や色んな情報をよく知っておられ大変助けられました。夏の暑いときには配達先のおばあさんが時々コップ一杯の冷たいお茶（麦茶など）をふるまっていた温情は今だに忘れられません。

船場や島之内を含む中央区はお店から近く、東西や南北の街路の名前も覚え一日何往復も行きました。中央区でも北浜や中之島のある北側は比較的ビルに入居している大きい会社が多く、南側は小さい商店が多いようでした。配達先がビルのテナントの会社の場合、ビールなど大きい品物が多

い傾向がありました。ビルによっては顧客用のエレベーターしかなくて、物品の配達にはそのエレベーターの使用は禁止され階段を昇っていかねばならないのでした。体力には自信がりましたが木杵入りビールの大瓶一ダースを肩に担いで3～4階を昇った時はさすがに厳しかったことを覚えています。おそらく15kg以上はあったと思います。またある時一升瓶のお酒3本を瓶の首と胴の二か所に荒縄で縛ったのを配達した時、一本が落下し続いて残りも落ちてオフィス街の道路がアルコール臭とガラス片がちらばり收拾に苦労したこともありました。明治屋の担当者には叱責されることもなく自分の不注意を詫言いました。産経新聞や明治屋のアルバイトは高校時代の友人の誘いで参加しましたが、今や彼らも全て故人となり思い出を話すことも叶いません。

当時市大では杉本町のキャンパスの中に大学が設置したアルバイトの斡旋所がありました。その所長さんは新聞に載る有名人でした。全学部の学生が利用していて私もスポットで時々お世話になりました。そこには仕事を求める学生が群がっていて、壁一面に様々な求人広告が貼ってあり条件に合った応募が定員オーバーの時にはじゃんけんで決めました。昭和29～31年頃は、終戦後約10年で一部の階層の方を除き貧しい家庭が多い時代

でした。大学のアルバイト斡旋では、醤油の間屋さんの倉庫の手伝いで商品の入庫や出庫の際トラックの積み下ろしなどを手伝いました。

一年上のK君とは船場の市田という繊維問屋で、お店にはロール状に巻いた色んな種類の生地や繊維製品が展示してあり、顧客は地方から来た小売の店主さんで、お店の人が独特の業界用語と大きいそろばんを使って相対で価格交渉をしていました。値段の決定プロセスを傍にいて興味深く観察することが出来ました。我々は倉庫から商品の搬出を担当しました。そこで頂いた報酬で商品の高級毛布を買い両親にプレゼントをして喜ばれました。

学生らしいアルバイトでは大阪駅で朝日新聞の世論調査をしました。通行人にアンケートに答えてもらい新聞社に帰り集計する仕事でした。

一年上のIさんから中学生の女生徒の家庭教師を引き継ぎました。期待した程成績が上がらず親御さんには申し訳なく思いました。学部に進んではラグビーの部活や勉強の時間も増え、アルバイトをする機会も少なくなりました。

必要に迫られて色んなアルバイトをして、現場で働く人々と共に汗をかき苦労も共有できたことは何物にも代えがたい経験であり、常に謙虚な気持ち忘れられない原点になっています。



直近の陶芸作品

北アメリカ北西海岸（カナダからアラスカ）の原住民のアート

写真は雷鳥

私はかくして開業医になった

黒田 晃司（昭和46年入局）

過去の話をしします。1970年7月25日大阪市立大学を卒業した。ここですでに皆さまとは大きく異なった人生のスタートです。このとき父親はすでになく亡くなっていましたなり、私も今82歳です。私の人生を振り返ってみたいと思います。



1971年奈良市に1,200万円の50坪の中古住宅を購入しました。一時金500万円払い1ヵ月10万円返金するローンでした。住友銀行がえらくあっさり融資してくれたので「やっぱり医師の信用はたいしたものだ」と己惚れていました。研修医の収入など不安定なのに！世間の噂と違うことに驚きました。しかしこれには裏話があることが後で判りました。私の同居人の欄に妹、弟、母を記入していました。妹は大阪市立小学校の教諭でした。銀行が勝手に私の妻と間違えていることを紹介していただく先輩の先生（整形外科医）から聞きました。その先生は銀行員に「奥さんは学校の先生のですね？」と訊かれたので「そうらしい」と言そうになったが、?言えば詐欺になるので、振り返りながらうなずいたように見えるように、看護婦さんに「お茶2つ凝ってきて」ってと言って話題を変えたそうです。大阪の人はみな役者ですね。年間120万円返すので、私が大学にいた間に返金してしまいましたので詐欺罪にはならず済みました。本当は駆け出しの医師なんかより公務員の信用の方が大きいことを知りました。



1975年増築した。結婚するのには狭かったのでガレージはない狭い家でした。1階が8畳の座敷、東側と南側に廊下があり、西側に4畳半の畳の部屋が食堂で隣に2畳の台所。2階は6畳1間だけで狭かった。結婚する前に500万円で増築した。弟さんが増築仕事も出来ると言うので「400万円の予算」で2階に6畳の板間を増築するようお願いした。途中で「屋根瓦の周囲を銅板を使った方がいいのでは？」とか言われたが、それは予算の範囲で出来ると私は思った。弟さんは銅板の販売をしているそうで「安くします」と言った。途中で何か言われたときは予算費用以外にお金がかかると言うことを知らなかった。あとで文句を言うわけには行かず、上田先生の手前支払わなければならなかったが100万円の増額は痛かった。結局1,700万円の家を買ったことになった。明らかに分不相応な買い物でした。

1971年4月大阪市大病院で研修が始まった。私は第一内科の大学院を受験した。循環器を専攻するときはその指導医を前もって選択して了解を得ておかないといけないことを知らなかった。循環器の担当医は前田先生でしたが田中、吉川先生は反前田派で私を受け入れてくれないことが判った。塩田教授に実情を訴えたが解決はしてくれなかった。市川先生に相談すると「整形へ来い」と言われ小谷教授と面会させてくださった。同年7月第一内科の大学院を退学した。ここで私は市

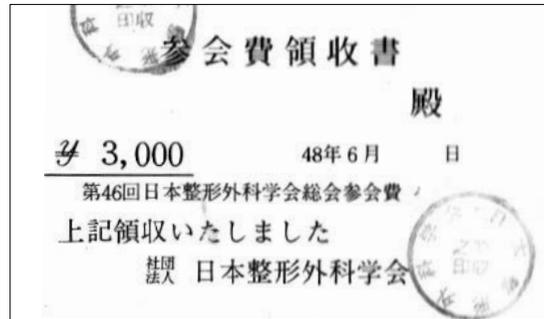


大病院の身分を失った。市川先生が心配して小谷教授と相談、医局の命令でこの年和泉市民病院（経済規模の大きかった岸和田市の分院）でしたが赤字負担をカバーで九亡くなり、和泉市民病院が独立して阪大から医師の供給ができなくなり、市大病院の関連病院医になった。

1972年に大学院に私（OAグループ市川担当）、山田（腫瘍グループ石田担当）、近藤（神経グループ松田担当）が入学した。大学紛争が終結して4年経過した。時のたつのは早いもので「大学紛争を終結させるときの獅子の会（44年卒業生）の振る舞いが目に余る」これは研修制度などのお願したことが詳しいが詳細不明。

1973年は市大整形外科教室創立20周年記念の年で、教室で小谷教授のアメリカ留学中に繋がりので来た米国、フランス、ドイツの教授を招待して市大で講演会を開き、式典が開かれ、我々も何らかの役割を果たした。私は小谷教授が伊丹国際空港に出迎えに行くときの小谷教授のクラウンの運転手を務めた。この時が小谷教授の一番輝いていたときだと後で思いました。6月に開かれた第46日整会の会場に大阪からアメリカ、フランス、ドイツから招待した先生と同伴し来られた夫人、医局員40人がJALの団体チケットで札幌に飛んだ。そしてこれらの教授の講演時には小谷教授が流暢な英語で座長を務めた。我々は誇らしかった。

さて大学院の指導医は私はUSAから帰ったばかりの広橋先生になった。意外だったが、市川先生は小松、若林、越宗先生の博士論文の指導者に



なっていた。広橋先生は帰国したばかりで、私の後の大学院生、菱川、林の指導医にもなった。

1974年博士論文の実験も軌道に乗ってきた。父の言いつけ通り大学での研修と実験に専念して、アルバイトは当直と月1回の土日の当直していた。市川先生や広橋先生、豊島先生、松田君その他大勢先輩？が私が結婚してないことを心配して「嫁を世話したる」と言われて釣書を貰った。父の言いつけを守ってウイークデイのアルバイトをしないで、日中は大学でウロウロしていた。そんな私は目立ったのか「手術について来いとか〇〇先生が夜診を手伝ってくれる人を探している」と言われて「ハイハイ」コウ引きに付いて行ったら、OP後夕食にびっくりするようなご馳走が出て来てきてそこへ娘さんが出てきたことが何度もあり、これでは皆さんに迷惑をかけると感じた。もはやこの状態は放置できない。私も33歳を過ぎていた。私に意中の人が出たのですが決心がつかなかった。獅子の会会員（同期生）は54人ですがすでに49人が結婚しました。大学紛争、その後の研修など私がクラス委員長として動いたので「慌てなくてもいいか！」とは思って「何となくし殿（シンガリ）を務めるか！」と漠然と思っていた。責任など取るつもりはなかったが若干強引な手段を使ったので引け目を感じていた。ここまで我慢したのだからもういいか？と思い「決心（＝結審？）すべき時が来た」と考えました。

1977年5月7日私の35歳の誕生日。その日は仏滅だったが土曜日だったので同級生、先輩達も融通しやすい日だと考えました。恵美のご両親はそういうことを私と違って気にする人でしたが、その日が私の誕生日であることにこじつけて、結婚の日と決めさせてもらいました。その頃ロイヤルホテルの営業マンで親しくしていた男に（名前の記録を搜索中）と掛け合って「仏滅の日だから



と言って値切るつもりはないが私の一世一代の結婚式だから会場を提供して欲しい」と切り出して、①親戚一同の結婚式を11時から初めて、正午から50人ほどで披露宴をして欲しい。②友人知人150人夕方から最上階のバー貸し切りで開かせて欲しい」頼んだ。

大学院を修了時医局長・吉中先生の指示で大阪府立身体障害者センター病院に初めて就職した。しかしここで恐れていたことが起こった。病院の上司に「1968年の大学紛争は我々44が起こし迷惑をかけた」と言われ、大学に戻してくれないばかりか「どこかへ消えろ」と言われた。それは整形外科医局だけではなく同級生全員に対する各科の医局の姿勢でした。我々は悩んだが、結局「大学に残るばかりが我々の今後の人生ではない」という獅子の会の親しい友人で、紛争収拾に動いた仲間の不本意ながら現状での結論でした。申し合わせたわけではなかったが23人が1980年前後に一斉に開業した。私は父・顯が開業後に送った人生を見ていたので開業するということは考えていなかったが、市大関係の各病院の整形外科・その部長の顔を思とどこへ行っても希望が持てそうになく一生その環境と戦う自信は湧いてこなかった。それより上田先生・小松先生の開業医としての生活、何より長田明先生の生活を見て「私の父と違うは開業医を見て、やりようによっては悪くはないな!」と思った。何より長田先生が突然開業した時の驚きは大きかった（開業した理由は亡くなるまで何度もお聞きしたが判らなかった。謎のままでしたが今年1月予想しない人が45年ぶりにそのヒントを教えてくれて、胸の使いはとれた）岩瀬先生が開業されたところで色々お伺いしたところ、医者だけで開業するのは大変なのは「我々は医業として整形外科を勉強してきたが、診療所を



経営してゆくためには事務長がいる。そのことを理解していなかったら大変だ」と言れ、納得できた。オリオ建設（京都）が施工した。設計事務所が悪かった。

1980年5月1日母の誕生日に開業した。4月に奈良から引っ越してきた。引っ越し屋がドジで積み残しが出るは荷物を落として器を壊すし結局奈良からの引っ越しなのに終わったのが夕方になり、寝るところの空間だけを作るのに苦労した。私の本、特に医学書を含む本とアルバムを詰めた箱・30箱が院長室に押し込まれ、1週間かかった。母のタンスに収納するのも大変でした。二階住まいになれないので階段の上り降りがしんどかった。



若者も踏み間違いに注意！

田中 直史（昭和56年入局）

最近、特に問題視されるようになってしまったのが、高齢者による駐車場でのコンビニ等に突っ込む踏み間違い事故ですが、私も今年古希を迎えてしまいました。14まだまだ車に頼らざるを得ない生活ですし、こういったニュースが頻繁に流されるにつれ、もしかして…、自分も…、とならぬよう、運転時には、油断大敵、以前よりも努めて法定速度を守り、車間距離をできるだけとって安全運転、遠くであっても歩道の青が点滅すれば、アクセルから離し、早めにエンジンプレーキを心がけるようになってきました。最近の車では、衝突防止・急アクセル抑制機能が備わっており、メーカー側の対策も徐々に進んでいると見受けられます。

確かに一方通行の逆走、信号無視などは、論外でしょうが、高齢者では、やはり判断力低下、視力・視野・聴力低下が進行していきます。しかし、踏み間違い事故に関しては、その原因が「止まろうとしているのに、故意にアクセルを踏む」ではなく、ほぼ全例が「止まろうとしてブレーキを踏んだつもりだったのに、アクセルだった」というものです。

高齢者では、認知の問題は別として、身体の柔

軟性が低下し、姿勢も悪くなり、膝痛・腰痛もあり、座り姿勢も猫背気味となります、若い時に比べて膝もより開きやすくなります。ブレーキペダルはシートの真ん中近くにありますが、通常運転時には何とか右脚・膝を閉じてブレーキペダルを踏んでいます、右ハンドルで駐車場等において右後方をしっかり確認しようとして、頸の可動域低下もあり、身体も以前より右に向けざるを得ず、オートマであるほどに骨盤、右脚・膝も開きやすくなります。その後に右脚・膝をしっかりと戻せなければ、右足はブレーキのつもりであっても、まだアクセルペダルの上だったというわけです。また、この理屈では、海外の左ハンドル車での左後方確認では、逆はあっても同様のミスは生じづらく、右ハンドルであることが、日本での踏み間違い事故が多い大きな理由の一つにもなります。

検索しますと、交通事故分析センターという公益財団法人による交通事故の調査・分析を報告した統計 (<https://www.itarda.or.jp/itardainfomation>) があり、そこからのデータを紹介します。（2022年2月 ITARDA INFORMATION NO.139）（図1）

図1 ペダル踏み間違い事故の運転者年齢層分布
(死亡重傷、1当軽乗用、普通乗用、2018~2020年)

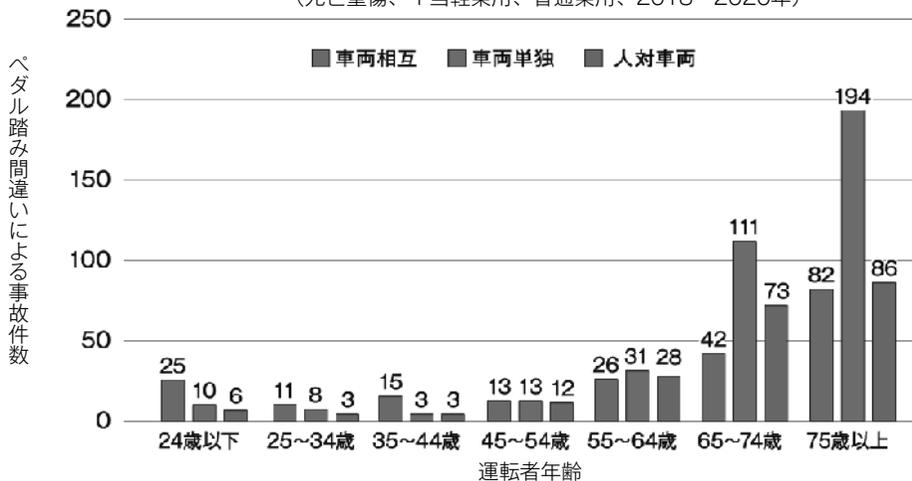
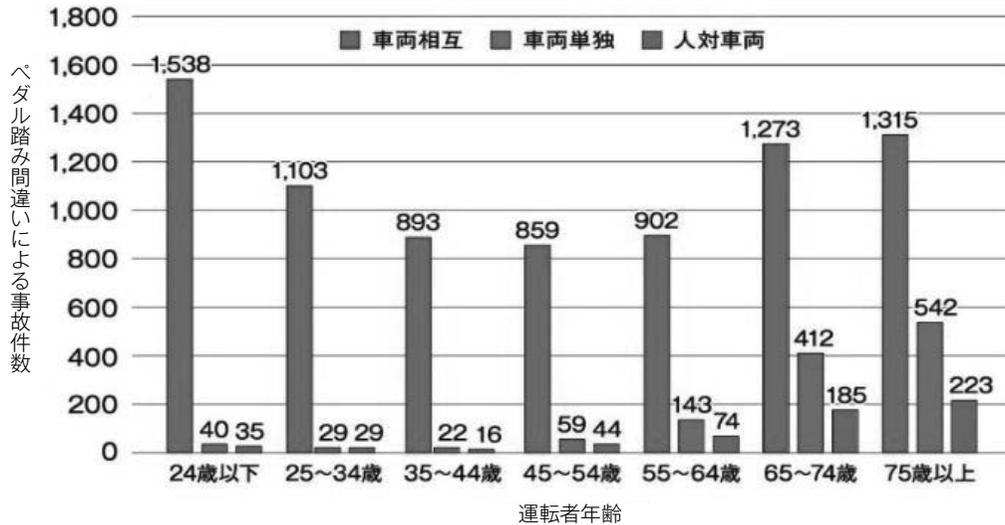


図2 ペダル踏み間違い事故の運転者年齢層分布
(死傷、1当軽乗用、普通乗用、2018~2020年)



このデータ(図1)からは、死亡・重症事故は、確かに65歳以上の高齢者で圧倒的に多く、なかでも単独事故によるケースが多いと見受けられます。原因もこれまで指摘されてきたように、判断力・操作能力が低下し、「誤ってアクセルを踏んでいる」ことに気づけず、混乱して修正できないまま、事故が大きくなってしまっているとされています。高齢者の運転資質が問われることで、2009年以降に免許更新時に認知機能検査が義務付けられるようになりました。

次に軽症を含めたデータ(図2)を紹介しましょう。踏み間違い事故の件数自体は若者でも多いのは御存知でしたか？

軽症を含めた踏み間違いの事故件数自体は、なんと若者が、年寄り並に増えているのです。しかし、若者が多い点については、「運転習熟度が低い」「運転している車に慣れていない」といった程度で、若い分だけ誤りにすぐ気づいて、大きな事故に至らないためか、さほど重要視されていません。

次に、この2022年以前のデータを紹介しましょう。

2018年2月 ITARDA INFORMATION NO.124 から、そのままの引用です。(図3)

この2018年の文献に載せられているデータは、図Ⅲのみですが、すでに2002年時点で、高齢者の

踏み間違いによる人身事故が相当に増えていることを示しています(2002~2006、2012~2016を表しています)。

当時は、確かに軽症例を含めても、高齢者による踏み間違い事故の比率が極めて高いという報告でした。さらに、高齢者は非高齢者と比較して、柔軟性が低下し、身体が思うように動かず、意図しないところで操作ミスをおこす。もともと脚を開き、つま先も開いて座りがちで、ブレーキを踏むつもりが、足がスリップしてアクセルとなりがち、とまでは解説されていました。

しかし、すでに2018年に報告されたデータでも、図Ⅲで示すように、24歳以下が10年の間に、1.5倍に増えています。さらに2022年の報告(図Ⅱ)では、確かに高齢者の免許返納例の効果もあるでしょうが、事故件数自体は24歳以下の若者が、わずか数年で一気に年寄り並に増えてしまっています。

もっと注目すべき点は、図ⅡとⅢの両者のグラフは一見ほぼ同じ傾向を示しているように見えますが、実は2018年の図Ⅱのグラフは25歳から54歳までの合計数を示しているのに対して、4年後の2022年の図Ⅲのデータでは、24歳から54歳までを合算せず、25~34歳、35~44歳、45~54歳と3つに分けています。この3つの年代を以前のように合算したグラフをつくってみます(図4)と、わ

図3 第1当事者が四輪車の年齢層別のペダル踏み間違い事故割合（特殊車、ミニカーを除く）
 (注1 事故割合=ペダル踏み間違い事故件数÷全事故件数)

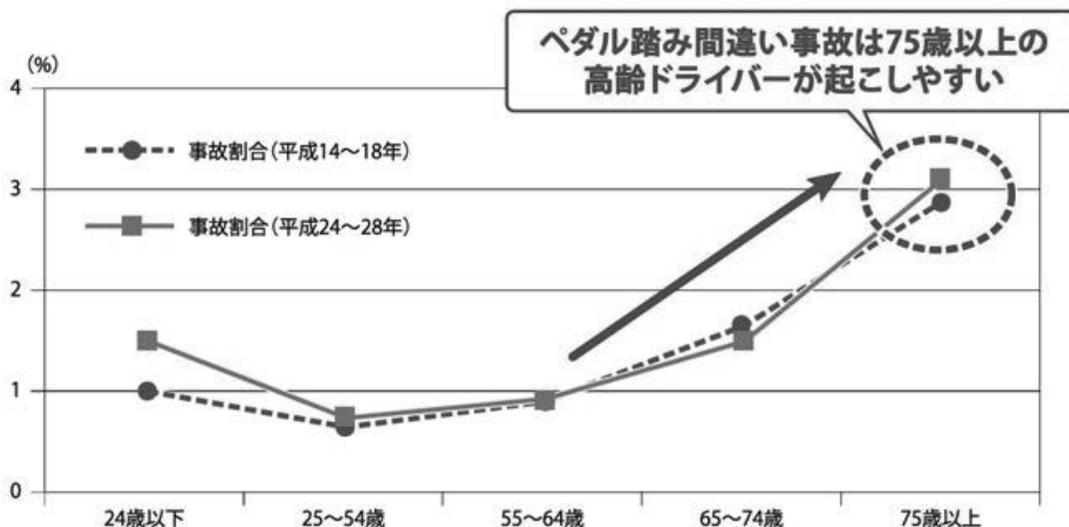
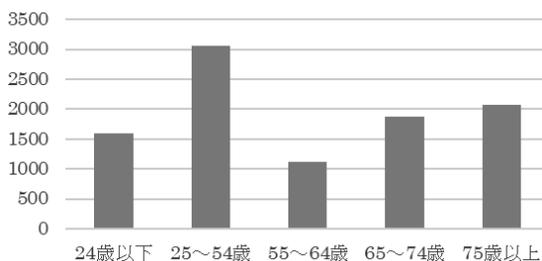


図4 踏み間違い事故の総数
 (2018~2020年)



ずか数年間の間に24歳以下の倍にまで膨れ上がっていることになり、もはや高齢者だけに目を向けているだけでは不十分でしょう。

つまり、今では30、40代でも踏み間違いの人身事故はどんどん増えてしまっているのです。おそらく、2022年のデータ解析時には、当時の社会風潮にあわせ、以前と同様、高齢者運転の危険性を強く訴え続ける必要があります、まず死亡・重症例だけのデータを作成し（図1）、さらに軽症例を含めたデータでも、以前まとめていた24~54歳を3つに分割させて、高齢者の事故比率を高めに表現した（図2）ものと見受けられます。高齢者対策が必要であり続けることには変わりはありませんが、今後の報告では、全年齢層で起こし得るといった内容となって、若者にも注意喚起する時代になると予想しておきましょう。

では何故こんなわずかの短期間に、若くて柔軟性も判断力もあるはずの20代に加え、30・40代でこんなに増えてしまったのでしょうか？ もちろん推測の域は出ませんが、電車の中や診察室でも特に強く感じるようになってきたことです。平成時代以降、家庭でも学校でも、親や教師に「良い座り姿勢」を指導されることなく、普段から膝を広げてしか座れない子供たちがそのまま成長し、結果として膝を閉じて座り続けることのできない大人が増えたためではないでしょうか？

まずは年齢に関わらず、日頃から両脚・膝を閉じて座り慣れること、それがそのまま踏み間違い事故を防止してくれると私はみています。私自身も座り姿勢、そして右脚・膝の開きに注意して運転していかねば、と思っております。

皆さんの御意見は、いかがでしょうか？

万博雑感

天野 祐一（昭和57年入局）

今を去る55年前、1970年の大阪北部の千里丘陵に「べらぼうなモノ」が出現しました。

日本万国博覧会です。千里の竹藪の生い茂った丘を切り開き、大阪市内からは無料のハイウェイの高架道路、新御堂筋を通し中央環状線とインターチェンジで結び、1964年に東京オリンピック開催日の10日前に開通した東海道新幹線と新大阪駅で結ばれています。新幹線が開通する前、東海道本線は電車特急「こだま」が6時間50分かけて東京－大阪駅間を結んでいましたが、1965年には「夢の超特急ひかり号」が東京－新大阪駅間4時間から3時間10分に短縮されました。

万国博覧会は官民挙げての巨大大事業であり、先頭に立って推し進めたのは通産官僚だった堺屋太一氏。彼の奮闘は伝説になっています。同時に活躍したSF作家の小松左京氏、太陽の塔をはじめ奇怪な（当時も今もそう思います）モニュメントを作成した岡本太郎氏、太陽の塔は博覧会后、お祭り広場の大屋根は撤去され塔だけが放置されて取り壊しの危機でしたが、先日重要文化財に指定されて存続が決定しました。半世紀を経て内部の公開も再開され、岡本ワールドに浸ることが出来ます。

万博のテーマは「人類の進歩と調和」、この言葉を思い浮かべるだけで当時14歳中学2年生だった頃の記憶が蘇ります。大阪市の外れの大正区からバス、地下鉄で千里中央駅、そこからバスでエキスポランドの駐車場にあるバス停まで運ばれて、中央環状線を陸橋で渡りながらニョッキリと聳える高さ70mの太陽の塔のてっぺんの金色に輝く「黄金の顔」をワクワクしながら見上げていたのが昨日の事のように。

受験勉強も無かった中2時代ですので弁当持ちで万博に通ったものです。広大な会場にそこかしこに建ち並ぶ異形のパビリオン、巨大なドーム型のアメリカ館、対抗するように屹立するソ連館、光のモニュメントの様なスイス館、1200年前の東

大寺の七重の塔は古河パビリオン、宇宙船に乗り込むような日立グループ館、高さ50mにも及ぶモミの木を300本運んで建てたカナダ、ブリティッシュコロンビア館、動く歩道で導かれた三菱未来館では人類の50年後の予想世界が陸海空に描かれていました。さすがに55年経ちましたが、そこまで進歩はしていませんね。

日本的な建築の松下館はタイムカプセルEXPO70を5000年後に遺すというもので現在は大阪城本丸公園に埋められています。ほんのちょっとだけ際どい映像の見られた自動車館は空いていれば毎回通ったパビリオンです。お小遣いを握りしめて1人で行く事が殆どでしたが、学校の遠足や同級生と行ったりしました。家族で行った時にはカプセルに入って高さ30mまで回転しながら登る間に軽食がいただける空中ビュッフェにも行きました。ビュッフェという言葉の意味も知りませんでした。

会場の北側には26haの日本庭園が広がり、今も市民の憩いの場になっています。初夏には蛍が舞い四季の花が咲き乱れています。万博の遺産としては55年経って立派な森になったパビリオン跡の木々と日本庭園が最高ではないでしょうか。

また、万博にはエキスポランドという遊園地がありました。5本のジェットコースターを並べた「ダイダラザウルス」、大観覧車、エキスポタワーなど当時大阪近辺にあったどの遊園地よりもスケールの大きな遊具が揃い、子供心にパビリオン7割、エキスポランド3割で楽しんでいました。

さて、大阪・関西万博2025です。前の万博の成功もあり、残されたベイエリアのインフラ整備も兼ねて夢洲に作られた広大な会場。賛否はあるもののIR導入が背景にあり大阪浮沈の鍵を握るとも言われます。

カジノと言えは6年前に訪れたマカオの巨大ホテルには宿泊者数1万人の巨大ホテルがあり、4方向のエントランスとレセプションカウンターが



ジャマイカ館

あり、スタジアムのようなボウル型のカジノや複数のシアター、趣向を凝らせた様々なレストランが高揚感をくすぐります。訪れる観光客は1日に24万人と聞きました。24万人と言えば天神祭花火の日の人手と同じです。

万博会場はアクセスにやや難有りですが、55年を経て計画された博覧会です。入場券は全てWeb上で個人情報を入力して、来場日や入場時刻の予約、ゲートの予約、駐車場の予約、パーク&ライドのシャトルバスの往復の時間の予約も必要です。開会して2カ月で問題点が露わになりました。ゲートのセキュリティチェックが空港並みで大混雑する事や、休憩場所、雨よけ場所が少ないこと、何より会場内の食事が高額なこと。

さらに希望するパビリオンの入場予約をしなくてはならず、1ヶ月前予約、7日前予約、3日前の空き枠抽選予約、さらに入場してからの当日空き枠抽選予約もすべてスマートフォンからの予約です。

どなたが考えた結果かは知りませんが、始めの頃には所謂デジタルデバイドを痛切に感じました。万博のアプリケーションを入手してパスワードを入力し、メールで送られてきた6桁の数字コードの二重認証をくぐってログインし、ガイドに従って予約したいパビリオンを入力してゆく。毎回あいうえお順にアラブ首長国連邦から始まって、望みのパビリオンにたどり着かず、タッチ操作を誤るとまた、元に戻ってしまう。スマホ操作にある程度のスキルが無いととてもじゃないがやっつけません。

そんなこんなでオープン当初の4月は様子を見ていたのですが、これが大間違いでした。万博に行こうという気分の醸成キャンペーンやマスコミ報道。最初は欠点をあげつらっていたものが一転して人気のパビリオンやレストラン紹介になり、連休明けから入場者数も増えていって5月31日には花火もあることから過去最高の15万人が殺到したようです。

確かに万博は楽しいです。奇抜な形のパビリオンを見上げながら大勢の人々が会場内を歩き回り、水辺では中止になるまでは噴水ショーやプロジェクションマッピング、夜にはドローンショー、月に1度は花火も上がります。無駄遣いと言われた大屋根リングも沈む夕陽の絶好のビューポイントになり、保存の声まででています。

しかしながら東ゲートからの入場はかなり先まで9時台10時台は満員で制限され、パビリオンの予約もほとんど取れない、取れても一つだけというのが6月中旬での現状です。

これから梅雨も明け、夏休みに入ると一気に入場者数も増えるとの予想です。20万人を越えると、これまでの最多の15~16万人の時に訪れた際の、とんでもない混雑がどうなって行くのかとても不安です。

それでも万博は楽しいです。14歳の頃のワクワク感が止まりません。土日祝日は避けて平日午後となると木曜日になります。車で行くと帰りが楽ですが、やはりコストがかかります。でも、こんなイベントはこれから無いでしょうから出来るだけ通うつもりです。

万博会場でお会いしましょう。

ハワイで初めてゴルフをしてきました



わたくしゴルフはあまりうまくありませんが、日本臨床整形外科学会の研修会で知り合った福岡の先生ご夫婦と一緒にハワイに行き、わたくしと福岡の先生と二人でラウンドしました。ハワイにはもちろん観光で行ったのですが、KoOlinaというまあまあ有名なゴルフ場に行きました。家内たちは隣にあるアウラニ・デイズニー・リゾート&スパで、デイズニーのキャラクターに会えるキャラクターブレックファーストを予約していたので、一緒にゴルフ場までいき、そこでゴルフ組とホテル組に分かれました。

日本のゴルフ場はちゃんとしたクラブハウスがあり、その中に受付があるわけですが、このゴルフ場は受付がどこにあるのかわかりにくかったです。なんとショップのレジのところを兼ねていました。はじめはどこに受付があるのかわからず、うろろしましたが、ショップの中だと知り、受付をするのですが、やはり英語がうまく通じないし、話している英語がわからない。何とか苦労して支払いを済ませ、スタートです。ショップを出て、階段を数段降りたところにレンタルシューズとレンタルクラブを借りるところがあり、借りました。クラブはすべてテイラーメイドでかなり上等のクラブだったと思います。すぐにスタ

増田 博（昭和57年入局）

ートだったので二人乗りのカートに乗り、最初のティーグラウンドに向かいました。前の組がいなかったのですぐに打ち始めたのですが、思ったよりドライバーのあたりがよかったです。きっとテーラーメイドのクラブがよかったのだと思い、買い替えるのならテイラーメイドだと思いました。気温はだいぶ高かったと思いますが、湿度が低かったのか、汗もほとんどかかずにラウンドできました。

どのホールも非常にきれいで すごくよく手入れされていて、気持ちよかったです。思わず写真を取りたくなるような景色が続き、すべてのホールの写真を撮ってきました。途中で道路を横断したり、いったいどういうところにゴルフ場を作っているのかと思うところもありました。コースの横は普通の民家が並んでいてかなり曲がるOBをだしたら民家の中に入りそうでした。幸いにとんでもないことにはなりませんでしたが、最後のほうで民家の庭の転がってしまい、OBになってしまいました。アップダウンはほとんどなく、平坦なコースでバンカーも少なく、バンカーには一度入れただけでした。そのバンカーもあごがあまり高くなく、日本の意地悪なバンカーとは違いました。もちろんアウトインをスルーで回りました。



途中で、有名なミッキーのバンカーがあり、もちろん写真を撮りました。日本で回るときよりも気持ちよく回れて、福岡の先生が105わたくしが107でした。ほんと気持ちがよかったです。機会があれば、また回ってみたいと思います。

はーるばる来たぜ、モロッコー♪

阪本 博史（昭和59年入局）

ゴールデンウィークにまたまた日本旅行企画のドクターズツアーで、モロッコに行ってきました。「きのうは何してたの？ そんな昔のことは忘れた。明日はどうしてるの？ そんな先のことはわからない。」の映画「カサブランカ」の国です。

エチハド航空で関空からアブダビまで12時間、乗り継ぎでカサブランカまで8時間。乗り継ぎを入れて22時間の行程です。出発が1時間遅れて、アブダビ到着後、手荷物検査をして、出発ゲートまでダッシュでやっと間に合いました。アブダビ空港はやたらと広く、20分くらいは走り回りました。いつも思うのですが、乗り継ぐ空港での手荷物監査は必要なのかな？ 出国時に検査をして、それ以後は空港内でしか物は手に入らないのに、なぜ再検査が必要なのでしょう？ 不思議です。

北アフリカの国モロッコ。暑そうな印象ですが、北緯35度。ほぼ大阪と同じ緯度の国です。アトラス山脈を境に、北は地中海性気候、南は砂漠気候。国の南北で極端に気候が変わります。人種も北はアラブ人、南は遊牧の民ベルベル人。顔も服装も違います。北はスペインのすぐ南で、スペインの飛び地もあり、元フランスの植民地で、気候も良く、フランス語が通じるため、ヨーロッパからの観光客の多い観光地です。

夜遅くカサブランカに着き、翌朝からバスで延々と移動でした。まず、フェズという「迷宮」都市。街中狭い路地だらけで、一度迷い込んだら地元民でないと出られないといわれる古い街です。狭い路地、T字路だらけで、ガイドなしでは歩けません。革製品の街で、なめし染色をする青天の工場が有名で、特有の匂いがすごかったです。匂いをやわらげる為に、工場見学の際には、ミントの葉を渡されて、それを嗅ぎながら歩きます。

革製品は安いのですが、安物を買うと、湿度の関係で、日本へ持ち帰ると匂いがきつくなり、使えないそうです。ここまでがアトラス山脈の北

側、ここからバスで4000m級の山脈越えです。

5時間かけてサハラの入り口の町エルフードに到着。4WDに乗り換えてデザートキャンプのあるメズルーカへ。舗装道があるのにわざわざ砂漠の悪路をサービスで走ってくれました。よく見ると、クルマのギア切り替えは2WDのまま。4WDは燃費悪いですからね。

1棟毎モンゴルのゲルのようなテントで宿泊。砂漠の真ん中ですが、エアコン、水洗トイレ付きの快適テントでした。この日は珍しく雨。年に5度ほどしか降らない大雨でした。サハラ砂漠で雨、超貴重な体験でした。

翌日は暗いうちから「ラクダに乗って砂丘まで行き、日の出を見る」というイベントでしたが、生憎の曇り空で日の出は見れませんでした。

ひとこぶラクダは乗り心地悪く、馬と違って足の出し方がほぼ前後の足が同時に前に進むという考えにくい歩き方で、左右に揺れまわります。最初、「こいつはどちらかの股関節が悪い」のかと心配しましたが、どのラクダもよく左右に揺れていました。

サハラ砂漠は赤銅色でサラサラ。歩くと、新雪を歩いているような歩くにくさで、ちょっとした坂でも足首まで砂に埋もれてしまいます。前日の雨でまだ固めの砂でしたが、これがいつものサハラなら、もっとサラサラで、とても歩けたものではないでしょう。人が歩くのと変わらないスピードでもラクダを使わないと移動できないのがよくわかりました。

3時間ほどサハラの砂と遊んだ後、インディージョーンズの撮影場所にもなった「トドラ狭谷」を通過して6時間かけて日干し煉瓦の街「ワルダザード」へ。ブラッドピッドが泊まったといホテルで宿泊。翌日は砂漠映画の定番集落「アイトベンハッドゥ」へ。

モロッコは中東、アラブを舞台にした映画の最大のロケ地だそうです。広大な敷地の砂漠を含め

たスタジオが何箇所もあり、スターウォーズやデューン砂の惑星などSF映画の撮影場所にもなっています。

またまた4時間ほどかけて、アトラス山脈の北側マラケシュへ。今度は、ロバートデニーロが経営するホテルに宿泊。マラケシュはモスクと神学校の観光。これらは、ウズベキスタンで見飽きたので、ほぼスルー。

いよいよカサブランカへ。映画カサブランカのRick's BARをコンセプトにしたレストランでの夕食を楽しみにしていたのですが、直前にモロッコ国王家族が急遽この店を貸しきりにしてしまっ

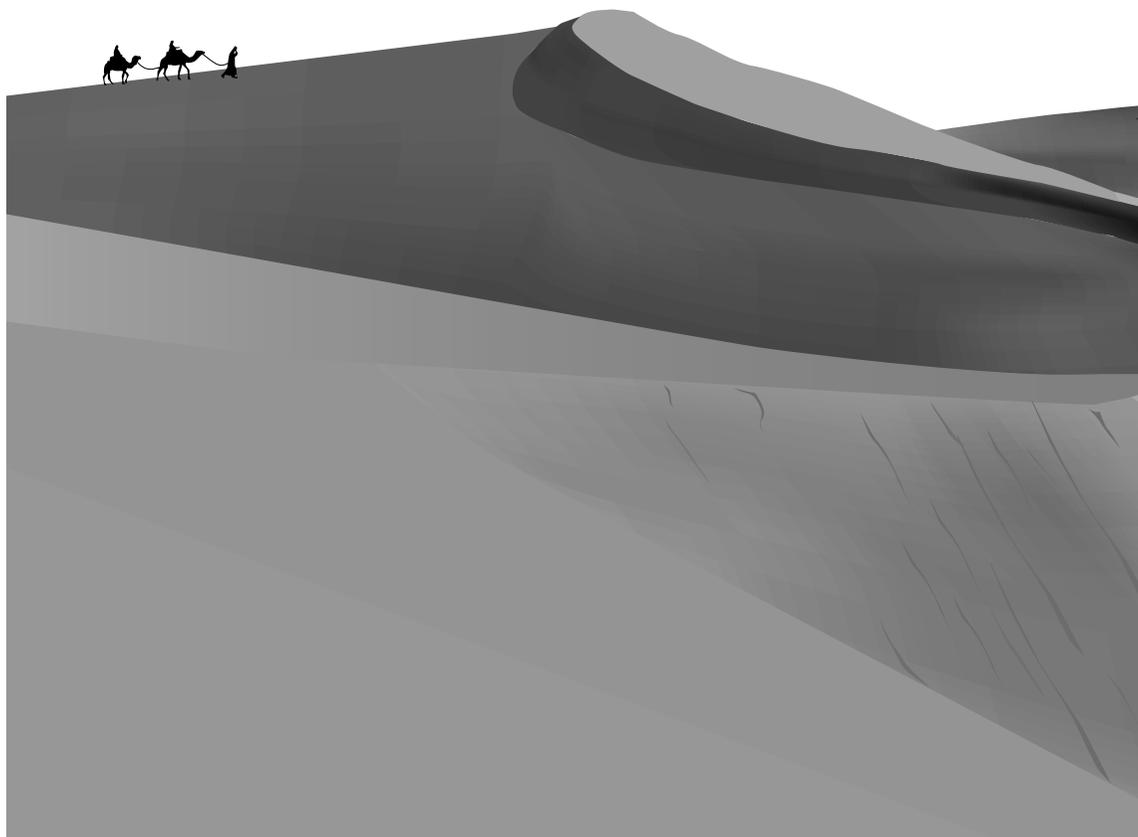
たので、海辺のおしゃれなレストランに変更。

カサブランカはヨーロッパ人の観光の街、リゾートでした。

モロッコはこの時期、気候も良く、治安も良いのでお薦めの観光地です。今回ホテルは砂漠のテント以外はすべて五つ星。ヨーロッパ人好みのゴージャスホテルでした。ヨーロッパの西の果てで、ちょっと遠いのが難点ですが、サハラ砂漠は一見の価値があります。

5泊8日、バス走行距離約2000km。妻との楽しい旅行でした。

「君の瞳に乾杯」



銀河鉄道999を今見て思ったこと

鱧永 浩（平成7年入局）

銀河鉄道999は、松本零士原作で、私が小6であったあたりからその後、2年間くらい放映された、SFアニメです。

未来、お金持ちで裕福な人間は、魂を機械の体に移し替えて、永遠の命を手に入れて人生を謳歌し、わがまま放題に快楽的な生活をし、生身の人間を迫害し、貧しい人々は生身の体で、機械化人に虐げられながらも、地道に働いていつかは機械の体を手に入れて、楽な生活がしたいなあと思っている人々がいる。そんな地球でした。

主人公、星野鉄郎は、機械の体をただでもらえる星が、彼方のアンドロメダにあり、母と二人でアンドロメダ行きの、銀河鉄道999号に乗れるパスを買うために、働いてお金を貯めるため、都市へ向かって田舎の雪道を歩いて旅をしている。こんな場面からストーリーは展開します。

その道中、わがまま機械化人の象徴である、機械伯爵の人間狩り（狩猟の対象が生身の貧しい人間）に鉄郎の母（すごい美人）がターゲットにされて、撃ち殺されはく製にされてしまいます。今の時代ならこんな物語がアニメで放映されることはまずないだろうと思う残忍さです。

そこへ、謎の美女メーテルがソリに乗って、鉄郎を助けに現れて都市のホテルまで連れて行きます。そこで、私と一緒に、アンドロメダの機械の星をただでくれる星に連れて行ってくれるなら、銀河鉄道999のパスをあげると、話を持ちかけます。パスをただでくれるのならと、鉄郎がいいよと言って、2人のアンドロメダまで999号に乗る旅が始まります。鉄郎は機械の体になって永遠の命を得て、機械伯爵に殺された母の分まで長生きし、迫害している機械化人をどうにかして平和な地球にしたいと考えていました。鉄郎10歳くらいです。

全部で100回くらいのお話があります。999号が次から次へと、宇宙の星へ停車して行って、その星の1日にあたる時間の間停車し、その星その星

で、鉄郎とメーテルとその星の人々とのショートストーリーが続いていくのですが、生身の人間だけが住んでいて、なつかしい日本の田舎を思わせる星、機械化人の迫害に対して生身の人間が団結して戦っている星、機械化人がまだわずかで、多くの人がなんで機械の体なんて欲しがらんだなどと言っている星、その星の太陽が老化して大きくなりやがてはその星を飲み込んでしまうため、多くの人は宇宙船で移民となってほかの星に移住している最中の星、いろいろありますが、ショートストーリーの連続で飽きてくるのも確かではありました。銀河鉄道999は当時も鉄道ブームでしたので、鉄道で宇宙を走って旅をするという絵だけでも楽しかったのではないかなと思います。

ちなみに999号は牽引車がSLのC62が先頭で、古いタイプの客車をひっぱって走ります。（中身は銀河鉄道の様々なタイプ列車のなかでも最も高性能で速く走れて、ワープもできるようです）

立ち寄った星のなかでのストーリーは、鉄道鉄道のパスを奪われたり、銃撃戦となったり、星そのものが崩壊してつぶれてしまったり、わりと激しいアクションも多く残酷な話も多いです。機械の体になって、いつまでも生きられるからと、怠惰な生活をおくっていたり、命を粗末に考えて殺人が日常である星であったり、機械化人になっても、もとの生身の体に戻りたいと思って生きている人にも多く触れておりました。

メーテルが鉄郎に旅を誘った、そもその理由は、自分の母が作った機械の星が機械のからだをただでくれる星の女王なのですが、その星をより強固なものにし、全宇宙の星を機械化、機械化人にするという野望を持ち、気持ちや意思の強い人の魂をもとに、星を構成する部品を作って、それを星に組み込むと、そういう部品のほうが強固であるらしく、星も強固になるため、それに鉄郎が選ばれたということでした。（これは、メーテルの本心ではありません）

旅の途中、いろんな人々と交わるうちに、アンドロメダにたどり着く頃には、機械の体を手に入れて、機械伯爵に殺された母の分まで長く生きて、機械人が生身の人間を迫害している地球を救う。という鉄郎の強い意志は、少し揺らいでいました。

生身の限りある命だからこそ、とにかく毎日を大切に懸命に生きることの方が良いと考えるようになっていました。

メーテルは女王の母へはそうしておきつつ、父とは（体を奪われ、魂をペンダントに閉じ込められていて、ペンダントの父とたまに会話します）、機械化を避けたいという強い意志を持った魂で作った部品を、母が作った星に組み込んで、最後一気に星を母もろとも破壊してしまおうと父と策略していて、これが鉄郎を選んだ本当の理由です。鉄郎は、星の部品になるためにつれて来られた多くの意思の強い若者の中の1人と言うこと

になっています。

物語の最後までは書けませんが、最近、私自身、自分が生まれてきた理由はなんだろうとか、自分が咲くのはここなのかなど（もう枯れつつある年齢ですが）、今頃たまに考えるようになり、実践している仕事のレベルがどうだとか、経営とか、自分の生業がそれなので開業医なりにそれも研鑽してはおりますが、それだけが自分ではないとも思い、心配して案じているわけではないのですが、今日を大切に丁寧に生きたいなあと思う最近の自分の気持ちに、見合った物語であったので、999の話をさせていただきました。

頭の中に、アニメの999の話を思いうかべながら、説明しにくい自分の気持ちを書きましたので、伝わりにくいかと思いますが、今回はここで終わらせていただきます。読んでいただきありがとうございました。



日本酒 2025

宮脇 裕二（昭和55年入局）

今回も日本酒について、色々な観点から私の嗜好を述べてみたいと思いますのでお付き合いください。

いわゆるプレミアム日本酒と言われる『十四代』、『新政 No.6』、『爾今』についてはネット上でのプレミアム価格には驚かされるばかりです（写真1）。



写真1

これらのお酒に続いて、いつの間にかプレミアム日本酒の仲間入りしてしまった銘柄があります。共通点は味は素晴らしいのですが、小さな酒蔵が作っているため流通量が少なく、市場に出回る量が少ないという点です。前に述べました3銘柄はホテルに行き、お金さえ出せば飲むことはできます。しかし今からご紹介する銘柄はなかなかお目にかかることはありませんので、運良く遭遇したならば、前述の3銘柄よりは安い価格設定ですので、ぜひ注文して味わってください。

まず一つ目は『勝駒』（写真2）で「かちこま」と読みます。富山県高岡市の清都酒造場が醸す日本酒で、希少価値の高い銘柄として知られています。清都酒造場は、5人の蔵人だけで日本酒を造っており、大量生産ができません。そのた



写真2

め、市場に出回る量が限られています。特に「勝駒 本仕込」は、その人気が非常に高く、地元でも入手が難しい状況です。そのため、もしこの銘柄を見かけたらぜひ試してみられることをお勧めします。



写真3

続いて、前にもご紹介しました『射美』（写真3）で、これは「日本一小さな酒蔵」を標榜する家族経営の蔵、杉原酒造が醸す非常にフルーティーなやや甘口の日本酒です。これも小さな酒蔵で作られるため「幻」と呼ばれ、多くの日本酒愛好家がこぞって探しているところでもあります。『爾今』と飲み比べると『爾今』よりはより

フルーティー感が強く甘い感じですが。名張の伊賀忍者、百地丹波と飛騨忍者、赤影の対決といったところでしょうか？

日本酒は銘柄で楽しむという方法と原料の酒米で楽しむという方法があります。ここでは後者の酒米について少し触れたいと思います。

まず、一番ポピュラーなものとして兵庫の『山田錦』があります。この酒米は粒が大きく、たくさん削っても割れないのが特徴で、例えば瀬祭の二割三分は米を23%と極限まで磨いたものです。お味は皆様ご存知ですのであえてここでは申しません。『山田錦』を使った代表銘柄は『瀬祭』、『黒龍』、『醸し人九平次』。

新潟の『五百万石』も『山田錦』と肩を並べるほどの酒米の代表格です。味は『山田錦』と対照的でキレのある辛口で、辛口好きの方からの評価の高い酒米です。『五百万石』を使った代表銘柄は『久保田 萬寿』

トップ3の最後は長野の『美山錦』で、これから作られるお酒はキレのあるやや辛口で、すっきりとしたあじわいのものとなります。『美山錦』を使った代表銘柄は『信州亀齢』、『一白水成』。

その他に江戸時代からある『雄町』、『山田錦』



写真4



写真5



写真6

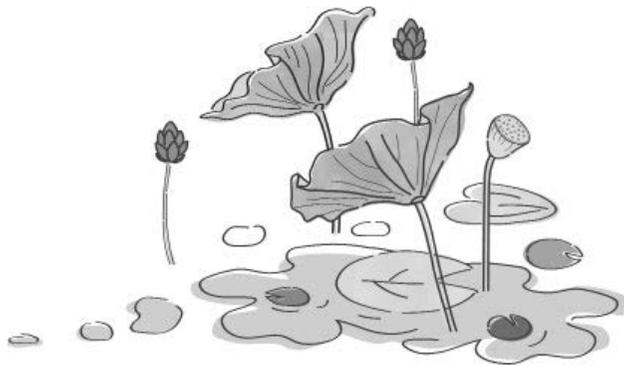


写真7

と『雄町』をルーツに持つ『愛山』などが有名ですが、他にも各地域で開発され栽培される多くの酒米があります。新しいところ言えば、これは私の好みになりますが、『十四代』で有名な山形県の高木酒造が開発した酒米で『酒未来』という酒米があります。これはあまり出回っていませんが、これで作られたお酒は『十四代』を連想させる少し甘めの味わいになります(写真4)。

最後に戦前にあった酒米で、ごく最近再生産されるようになった『神力』は明治時代から戦前頃まで西日本で広く栽培されていました(写真5 超裏・雅山流 神風)。お味は名前とは違って非常にフルーティーな感じで飲みやすい感じでした。同じようなもので『愛国』ですが、(写真6、7 鳳凰美田 愛国)これも明治時代から戦前まで作られていた酒米で、どちらも戦前らしいネーミングのものです。このような復刻米も色々出ているようですが、私の飲んだのはこのふたつでした。

さて色々と日本酒を紹介してきましたが、何が一番良いのかと問われるとやはり『爾今』かなとは思いますが。次いで『射美』かな？ 以上私の独断と偏見ではありますが。



編集後記

みなさま、もう万博に行かれましたか？私はまだですが、チケットは前売りを買っていますが、この暑い夏に行って熱中症になるのも嫌だし、もう少し涼しくなるまで待つとなると、万博自体が終わってしまいますので、どうしようかと悶々としている毎日ではあります。今回会報で天野先生が万博記事を書いていただいていますので、行かれていない方はこの記事をご参考になさる行かれたら良いと思います。

今回も多くの投稿をいただき感謝しております。小竹先生には新会長としての所信を語っていただき、西澤先生にも退任のご挨拶をいただきました。石崎先生には昔懐かしいアルバイトのお話を書いていただきました。杉本町の大学事務にたしかアルバイト幹旋部門があったなど、昔の記憶を思い出すところではあります。大学陸上部に来るアルバイトは大きな住宅分譲地に連れて行かれて、そこの各家にチラシをポスティングする仕事で、もちろんランニングで、練習の一環としてでもありました。

黒田先生には開業の逸話をいただきました。会

員の先生方もそれぞれの開業逸話をお持ちでしょうから、会報にどしどし投稿していただければと思います。また、田中直史先生から投稿をいただきました。皆様からの要望の強かった先生の記事ですが、なんとブレーキの踏み間違いのお話で、若者も多い、そのわけは姿勢、ということで診療の際にも参考になるネタと思います。

それからレギュラーの大川先生には家族会、今回は太秦映画村、ここは本当に楽しいところで、多くのご参加をお願いしたいところであります。

増田、阪本、鱧永先生にも楽しい話題を提供していただきましたので充実した快方を作ることができました。

広報担当として、多くの先生方に叱咤激励をいただきながら市整委会報を作り続けて、早20年を過ぎました。私もぼちぼち潮時かと思えます。誰かこの業務を引き継いでいただく方を探しておりますので、自薦他薦を問わず、適当な方に引き続きお願いしたいと考えております。

広報 宮脇裕二